

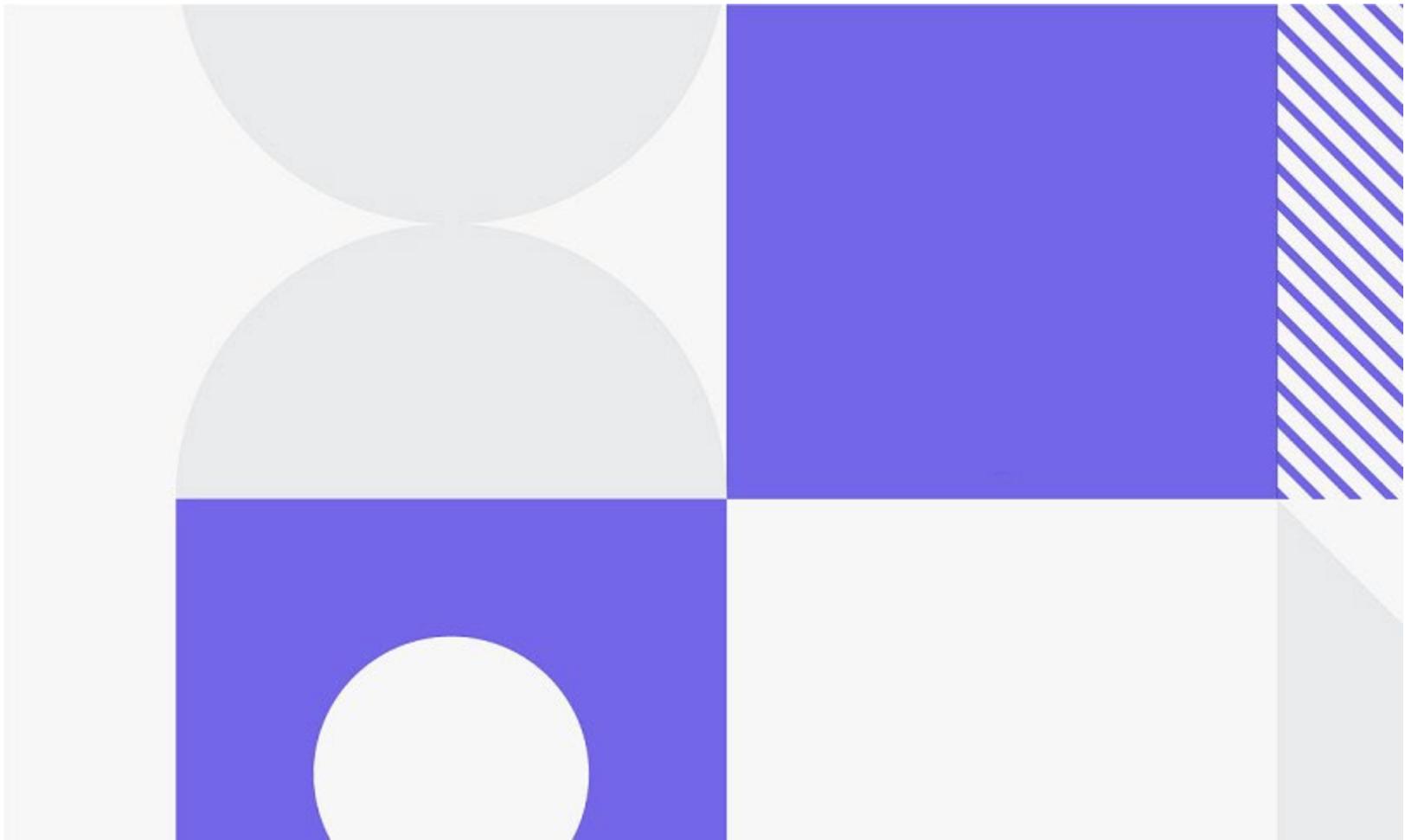
opentext™

Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 2023-23.4

はじめにヘルプ

<https://admhelp.microfocus.com/ppm/>



ドキュメントリリース日: 2023年10月

フィードバックを送る



「はじめに」ガイドであなたのエクスペリエンスを改善する方法を教えてください。

電子メールの宛先: docteam@microfocus.com

ご注意

© Copyright 2023 Open Text.

Open Textおよびその関連会社およびライセンサ(「Open Text」)の製品およびサービスの保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Open Textはいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

免責事項

ここからアクセス可能なソフトウェアの一部には、Hewlett-Packard Company (現在のHP Inc.) およびHewlett Packard Enterprise Companyのブランドが含まれる場合があります。このソフトウェアは、2017年9月1日にMicro Focusによって買収され、現在は所有と経営を別とする会社Open Textによって提供されています。HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークの使用は歴史的なものであり、HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークはそれぞれの所有者に帰属します。

目次

PPMのご紹介	10
なぜPPMを使用するのですか?	10
PPMプロセスの概要	11
PPMを初めてお使いですか?	11
ヘルプセンターのブックマーク	11
PPM 23.4の新機能	12
What-if分析の機能拡張	12
ポートフォリオ管理の機能拡張	13
リソース管理の機能拡張	13
時間管理の機能拡張	14
管理の機能拡張	14
プラットフォームの機能拡張	15
デマンド管理の機能拡張	15
統合の更新	15
プロジェクト管理の機能拡張	16
マイタイムシートアプリの更新	16
Oracle EBSのデプロイメント管理拡張機能	17
PPMの新機能 - 以前のバージョン	17
PPM 23.3の新機能	18
強化されたwhat-if分析 (ベータ版)	18
プラットフォームの機能拡張	18
管理の機能拡張	19
時間管理の機能拡張	19
統合の機能拡張	20
REST APIの機能拡張	21
リソース管理の機能拡張	21
ポートフォリオ管理の機能拡張	22
デマンド管理の機能拡張	23
プログラム管理の機能拡張	23
APMの機能拡張	23
PPM 2023の新機能	24
ポートフォリオ管理の機能拡張	24
プロジェクト管理の機能拡張	24
PPM-Agile統合の機能拡張	25
プラットフォームの機能拡張	25
財務管理の機能拡張	26

リソース管理の機能拡張	26
管理の機能拡張	27
デマンド管理の機能拡張	27
APMの機能拡張	27
ポートレットの機能拡張	27
Internet Explorerの廃止	27
PPM 10.0.4の新機能	28
ポータルフォリオ管理の機能拡張	28
プラットフォームの機能拡張	29
デマンド管理の機能拡張	29
PPM-ServiceNow統合	29
時間管理の機能拡張	30
財務管理の機能拡張	30
管理の機能拡張	30
レポートの機能拡張	31
ポートレットの機能拡張	31
PPM 10.0.3の新機能	31
PPM-Agile統合の機能拡張	31
ダッシュボードの機能拡張	32
リソース管理の機能拡張	33
管理の機能拡張	34
チーム管理の機能拡張	34
OOTBフィールドにカスタム検証を使用する	35
プロジェクト管理の機能拡張	35
ポータルフォリオ管理の機能拡張	35
時間管理の機能拡張	35
廃止	36
PPM 10.0.2の新機能	36
新機能ビデオ	36
ポータルフォリオ管理の機能拡張	37
プロジェクト管理の機能拡張	37
デマンド管理の機能拡張	38
チーム管理の機能拡張	39
管理の機能拡張	40
PPM - ALM Octane統合の機能拡張	40
インストールとアップグレードの機能拡張	41
リソースプールの分析ポートレットの更新	41
kMigratorの改善	41
ワークベンチの機能拡張	41
PPM 10.0.1の新機能	42

ポータルフォリオ予算	42
統合の機能拡張	42
レポートの機能拡張	43
ダッシュボードの機能拡張	43
リソース管理の機能拡張	44
管理の機能拡張	45
PPMをPostgreSQLデータベースでアップグレードする (ベータ版)	45
PPM 10.0の新機能	46
ポータルフォリオ財務	46
セルフサービスポータルレットの拡張機能	46
管理の機能拡張	47
コンカレントライセンスの機能拡張	47
デマンド管理の機能拡張	48
新規特殊コマンド	48
PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版)	48
統合の更新	48
プロジェクト管理の機能拡張	49
kMigratorの改善	49
廃止	49
PPM 9.66の新機能	50
新機能ビデオ	50
ダッシュボードの機能拡張	50
チーム管理の機能拡張	51
デマンド管理の機能拡張	52
プロジェクト管理の機能拡張	52
プログラム管理の機能拡張	53
マイタイムシートアプリの更新	53
リソース管理の機能拡張	53
統合の更新	53
拡張機能の更新	53
財務管理の機能拡張	54
ライセンスアサインの変更に関する監査証跡	54
認証用のJWTのサポート	54
PPM 9.65の新機能	54
新機能ビデオ	54
チーム管理の機能拡張	54
ダッシュボードの機能拡張	55
マイタイムシートアプリの機能拡張	56
デマンド管理の機能拡張	56
ガントチャートの機能拡張	57

プラットフォームの機能拡張	57
プログラム管理の機能拡張	57
時間管理の機能拡張	58
ドキュメントの機能拡張	58
PPM 9.64の新機能	58
マイタイムシートアプリ	58
チーム管理の機能拡張	58
デマンド管理の機能拡張	59
プロジェクト管理の機能拡張	59
リソース管理の機能拡張	59
kMigratorの改善	60
ヘルプセンター共有ボタン	60
PPM 9.63の新機能	61
デマンド管理の機能拡張	61
ポートフォリオタイプ	63
プラットフォームの機能拡張	64
PPM-JIRA統合の更新	64
ダッシュボードの機能拡張	65
リソース管理の機能拡張	65
時間管理の機能拡張	65
チーム管理の機能拡張	66
財務管理の機能拡張	66
Kubernetesサポート (ベータ版)	66
PPM 9.62の新機能	67
ポートフォリオ管理の機能拡張	67
チャットボットの機能拡張	67
チーム管理の機能拡張	68
機能拡張のインストール	69
ダッシュボードの機能拡張	69
管理の機能拡張	70
プログラム管理の機能拡張	71
プロジェクト管理の機能拡張	71
リソース管理の機能拡張	72
時間管理の機能拡張	72
デマンド管理の機能拡張	73
財務管理の機能拡張	73
廃止	73
PPM 9.61の新機能	74
ポートフォリオ管理の機能拡張	74
プロジェクト管理の機能拡張	75

デプロイメントの改善.....	76
リソース管理の機能拡張.....	76
ダッシュボードの機能拡張.....	77
時間管理の機能拡張.....	77
PPMチャットボットの機能拡張.....	77
ヘルプセンター.....	78
廃止.....	78
PPM 9.60の新機能.....	78
PPM Enterprise Suiteコンカレントライセンス.....	78
PPM for Mobileの更新.....	79
ポータルフォリオ管理の機能拡張.....	79
Micro Focus PPM Connector.....	79
PPMチャットボット.....	80
ダッシュボードの機能拡張.....	80
機能の切り替えの機能拡張.....	81
管理の機能拡張.....	81
時間管理の機能拡張.....	82
プロジェクト管理の機能拡張.....	82
リソース管理の機能拡張.....	82
プログラム管理の機能拡張.....	82
廃止.....	83
PPM 9.55の新機能.....	83
PPM for Mobileの更新.....	83
財務管理の機能拡張.....	84
プロジェクト管理の機能拡張.....	85
ダッシュボード.....	87
デマンド管理.....	87
プログラム管理の機能拡張.....	88
ポータルフォリオ管理の機能拡張.....	88
機能の切り替えの機能拡張.....	88
廃止.....	89
PPM 9.54の新機能.....	89
チーム管理の更新.....	89
PPM Mobileの新しいUI.....	90
プラットフォームの機能拡張.....	90
エンタープライズアジャイルアップデート.....	91
機能の切り替えの機能拡張.....	91
ポータルフォリオ管理の機能拡張.....	91
What-if分析の機能拡張.....	92
ダッシュボードの機能拡張.....	92

デマンド管理の機能拡張	92
プログラム管理の機能拡張	93
リソース管理の機能拡張	93
時間管理の機能拡張	94
財務管理の機能拡張	94
ヘルプセンターの改善	95
プロジェクト参加者とのチャットを開始	95
PPM 9.53の新機能	95
チーム管理の更新	95
機能管理	96
スタッフィングプロファイルからの予測人件費の表示	96
エンタープライズアジャイルアップデート	97
ダッシュボードの機能拡張	97
デマンド管理の機能拡張	98
ドキュメント管理の機能拡張	98
財務管理の機能拡張	98
プラットフォームの機能拡張	99
ポートフォリオ管理の機能拡張	99
プログラム管理の機能拡張	100
プロジェクト管理の機能拡張	100
時間管理の機能拡張	101
PPM 9.52の新機能	101
チーム管理	101
プロジェクト管理の機能拡張	102
リソース管理の機能拡張	104
時間管理の機能拡張	105
プラットフォームの機能拡張	106
AWSサポート	106
統合の機能拡張	107
What-if分析の機能拡張	107
デマンド管理の機能拡張	107
財務管理の機能拡張	108
ダッシュボードの機能拡張	108
APMの機能拡張	109
MLU	109
PPM 9.51の新機能	109
ポートレットの機能拡張	109
OpenJDK for Workbenchのサポート	110
OIDC SSO	110
PPM 9.50の新機能	113
What-if分析	113

エンタープライズアジャイルアップデート	113
ポートフォリオ管理の機能拡張	115
プログラム管理の機能拡張	116
プロジェクト管理の機能拡張	116
リソース管理の機能拡張	116
デマンド管理の機能拡張	117
ユーザー認証の機能拡張	117
PPMレポートの機能拡張	117
REST APIの改善	117
ヘルプセンターの機能拡張	118
プラットフォーム認定	118
既知の問題	119
PPMのインストール	119
プラットフォーム	119
プロジェクト管理	119
ポートフォリオ管理	120
リソース管理	120
PPMモジュール	121
PPMサポートマトリックス	123
PPM統合	124
PPM統合その他のヘルプ	125

PPMのご紹介

Project and Portfolio Management Center (PPM) は、組織がビジネスのデマンドとアイデアを追跡し、戦略的優先順位に沿ったプロジェクトの適切なポートフォリオに投資するためのより良い決定を下し、プロジェクトを集合的に管理して、プロジェクトが予定どおりに予算内で提供されるようにするのに役立ちます。

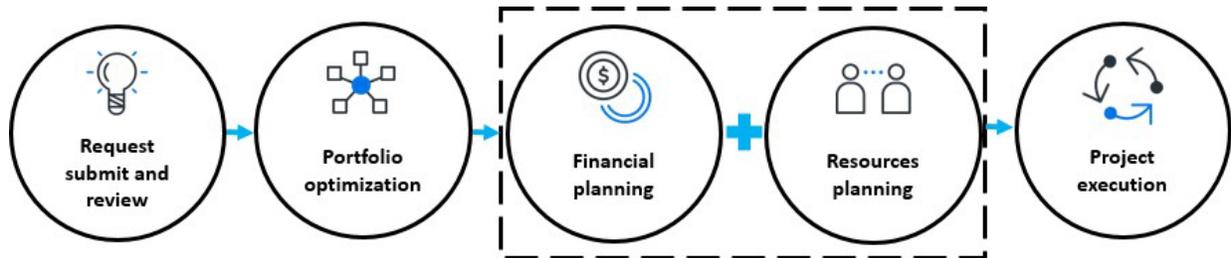
なぜPPMを使用するのですか？

PPMは、さまざまなロールの課題に対処するのに役立ちます。

ロール	課題
CIO ポートフォリオ マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の価値観に従ってビジネス目標を定義します。 ビジネス目標を実行するために何を投資するかを決定します。 ポートフォリオのステータスを評価して伝達します。
プログラムマネージャー PMO	<ul style="list-style-type: none"> グループ化されたプロジェクトのパフォーマンスを管理します。 プロジェクト間で一貫したプロセスを確保します。
プロジェクト マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを計画、実行、および完了します。 問題、リスク、および変更に対処します。
リソースマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> リソースのキャパシティと容量を管理します。 プロジェクトのリソース計画を行います。 プロジェクトにリソースをアサインします。
財務マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトに予算を割り当てます。 プロジェクトの予測と実際のコストを追跡します。
システム管理者	<ul style="list-style-type: none"> 組織のポリシーに合わせてシステムをカスタマイズおよび構成します。 システムユーザーを管理します。
チームメンバー	<ul style="list-style-type: none"> リクエストを送信します。 アサインされたタスクの時間を報告します。

PPMプロセスの概要

このフローは、計画から実行までのPPM全体のプロセスを示しています。



PPMを初めてお使いですか？

PPMでのアクションは、PPM WebページまたはPPM Workbenchのいずれかで実行されます。**はじめに**ガイドでは、PPM WebページとPPM Workbenchのコンポーネントを紹介し、いくつかの基本的なアクションについて説明します。

印刷用ドキュメントは、Adobeのポータブルドキュメント形式 (PDF) で入手できます。ドキュメントを表示するには、[はじめに](#)をクリックします。

ヘルプセンターのブックマーク

ヘルプセンターの最新バージョンを常に表示するには、次のリンクをブックマークしてください：
<https://admhelp.microfocus.com/ppm>

トピックの最新バージョンを常に指すリンクを作成するには、URLのバージョン番号を「latest」に置き換えます。例えば:

- 前のバージョン:

https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/9.50-9.52/Help/Content/Intro_PPM.htm

- 現在のバージョン

https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/latest/Help/Content/Intro_PPM.htm

 参照:

- [121ページの「PPMモジュール」](#)
- [123ページの「PPM統合」](#)

PPM 23.4の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 23.4で導入されました。

注記: PPMバージョン2023から23.4のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 23.4で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン2023~23.3の機能拡張を表示するには、[PPMの新機能 -以前のバージョン](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

what-ifシナリオに開始日または終了日のないエンティティを含める	開始日や終了日のないエンティティをポートフォリオのwhat-ifシナリオに手動で追加できるようになりました。 詳細については、 シナリオにコンテンツを追加する を参照してください。
シナリオを比較する	2つまたは3つのシナリオを比較して、さまざまな投資計画の影響を評価し、最適なシナリオを決定できます。 詳細については、 シナリオの比較 を参照してください。
シナリオのコピーを保存する	スナップショットを作成するか、シナリオをエクスポートすることで、シナリオのコピーをその内容、スケジュール、キャパシティプランニングを含めて保存できます。 詳細については、 スナップショットとエクスポートのシナリオ を参照してください。
シナリオのコンテンツの依存関係を表示する	シナリオ内のコンテンツの依存関係を表示および追加できるようになりました。これは、ポートフォリオのコンテンツに優先順位を付けるのに役立ちます。 詳細については、 依存関係の表示と追加 を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオバックログ項目の依存関係を表示できるようになりました。これは、ポートフォリオコンテンツの優先順位付けとスケジュール設定に役立ちます。

詳細については、[ポートフォリオの依存関係](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

指定されたリソースプールからのみリソースをリクエストする	スタッフィングプロファイルのポジションにリソースプールが指定されている場合、そのポジションは指定されたリソースプールからのリソースのみを要求できます。 詳細については、 ポジションの追加 を参照してください。
リソースプール/チーム編集権限による拡張機能	リソースプールまたはチームを編集できる場合は、次のことができるようになります。 <ul style="list-style-type: none">リソースプールまたはチームのマネージャーでない場合でも、リソースプールまたはチームにリソースを追加します。リソースの直接の管理者でない場合でも、リソースを削除または転送します。 この機能を使用するには、 [編集アクセス権限を持つユーザがリソースプール/チーム内のリソースを管理できるようにする] 機能の切り替えを有効にします。 詳細については、 リソースプールセキュリティ を参照してください。
[組織モデルの表示] ページを刷新	[組織モデルの表示] ページの外観が改善されました。組織モデルの参照が簡単になりました。 詳細については、 モデル組織単位 を参照してください。
ksc_clear_staffingprofile_forest_assignmentはリソースアサイン終了日を更新する	ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignment 特殊コマンドは、完了したスタッフィングプロファイルの予測とアサインをクリアするだけでなく、アサイン終了日も更新するようになりました。 詳細については、 ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignment を参照してください。

[リソース負荷の内訳] テーブルには、リソースがフルネームのアルファベット順にリストされる

[リソース負荷の内訳] テーブル内のリソースが姓ではなくフルネームでアルファベット順にリストされるようになり、特定のリソースを見つけやすくなりました。
詳細については、[リソース負荷の表示](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

リソースのデフォルトの請求書の承認者の編集を禁止する

管理者は、新しい `TM_LOCK_DEFAULT_BILLING_APPROVER` パラメーターを `true` に設定することで、個々のリソースのデフォルトの請求書の承認者の編集を無効にできるようになりました。

`true` に設定すると、新しい **デフォルトの請求書の承認者の変更** レポートを使用して、すべてのリソースに対してデフォルトの請求書の承認者をグローバルに変更することのみが可能になります。

詳細については、[タイムシートポリシーとリソースの承認者の構成](#) [リソースの承認者](#) および [デフォルトの請求書の承認者の変更](#) を参照してください。

[タイムシートの承認] ポートレットでデフォルトの時間承認者によってタイムシートをフィルタリングする

新しいフィールド **[デフォルトの時間承認者]** が、タイムシートの承認ポートレット設定ページに追加されました。このフィールドを使用して、デフォルトの時間承認者ごとにタイムシートをフィルタリングできます。

詳細については、[\[タイムシートの承認\] ポートレットの使用](#) を参照してください。

[時間の承認] ページでタイムシートの明細をタイムシート項目ごとに並べ替える

タイムシートの明細レベルで承認する時間を検索する際に、検索結果をタイムシート項目ごとに並べ替えられるようになりました。

詳細については、[\[時間の承認\] ページの使用](#) を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

企業ロゴの変更	PPM標準インターフェイスに表示される企業ロゴを管理コンソールから変更できるようになりました。 詳細については、 企業ロゴの変更 を参照してください。
プロフィール写真を追加	プロフィールに画像を追加できるようになりました。 詳細については、 個人を特定できる情報の変更 を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

Web UIからPPMエンティティを移行する	Web UIからPPMエンティティをあるインスタンスから別のインスタンスに移行できるようになりました。 詳細については、 ウェブUIからエンティティを移行する を参照してください。
データスペースごとにリクエストを分離する	データ分離機能を使用して、リクエストをデータスペースごとに分離できるようになりました。 詳細については、 データ分離 (ベータ版) を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストタブを設定する	リクエストの詳細にどのタブを表示するかを構成し、タブの順序を決定できるようになりました。 詳細については、 リクエスト用のタブの設定 を参照してください。
URL参照のサポートが拡張された	リクエスト参照として最大4,000文字のURLを追加できるようになりました。 詳細については、 リクエストへの参照の追加 を参照してください。

統合の更新

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

<p>Azure DevOpsエピックを PPMタスクにインポートする</p>	<p>Azure DevOpsプロジェクトからPPMプロジェクトタスクに特定のエピックをインポートすることを選択できるようになりました。</p> <p>詳細については、PPMタスクとAzure DevOpsプロジェクトとの統合を参照してください。</p>
<p>PPM - ALM統合はALMバージョン 16および17をサポートする</p>	<p>PPMとALMの統合では、ALMバージョン16および17がサポートされるようになりました。</p> <p>詳細については、Quality Center/Application Lifecycle Managementとの統合を参照してください。</p>

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>Oracle Primavera P6ファイルと PPMタスクユーザーデータ間の フィールドマッピング</p>	<p>Oracle Primavera P6 XERおよびXMLファイルのフィールドをPPMタスクのユーザーデータフィールドにマップできるようになりました。</p> <p>詳細については、作業計画ファイルを使用したスケジューリング統合を参照してください。</p>
<p>新しいタスクエントリに対する 未保存の変更の備考</p>	<p>作業計画のクイックビューでタスクを追加すると、保存されていない変更の備考がポップアップ表示されます。</p> <p>以前は、備考は、変更を保存せずにページを離れた場合にのみ機能しました。</p> <p>詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>
<p>[プロジェクトのガント] ポートレットおよび [プロジェクトタイムライン] ポートレットに終了ページ ボタンを表示する</p>	<p>[レコードの合計数を表示] オプションが、[プロジェクトのガント] ポートレットと [プロジェクトタイムライン] ポートレットの設定ページで使用できるようになりました。</p> <p>このオプションを選択すると、ポートレットレコードの最後のページにジャンプできます。</p> <p>詳細については、ポートレットプリファレンスの編集を参照してください。</p>

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、タイムシートの作業項目のアクティビティを追加できるようになりました。

詳細については、[作業項目にメモとアクティビティを追加する](#)を参照してください。

Oracle EBSのデプロイメント管理拡張機能

Deployment Management Extension for Oracle E-Business Suiteには、OracleのFNDLOADユーティリティを使用して、同時プログラム登録、GUIメニュー、QuickCode、Single QuickCode、およびValue Setの移行を自動化する5つの新しいオブジェクトタイプが含まれています。

詳細については、[PPM機能拡張と移行機能](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPMの新機能 - 以前のバージョン

このセクションでは、以前のバージョンのPPMで導入または拡張された機能の概要を説明します。

- [50ページの「PPM 9.66の新機能」](#)
- [54ページの「PPM 9.65の新機能」](#)
- [58ページの「PPM 9.64の新機能」](#)
- [61ページの「PPM 9.63の新機能」](#)
- [67ページの「PPM 9.62の新機能」](#)
- [74ページの「PPM 9.61の新機能」](#)
- [78ページの「PPM 9.60の新機能」](#)
- [83ページの「PPM 9.55の新機能」](#)
- [89ページの「PPM 9.54の新機能」](#)
- [95ページの「PPM 9.53の新機能」](#)
- [101ページの「PPM 9.52の新機能」](#)
- [109ページの「PPM 9.51の新機能」](#)
- [113ページの「PPM 9.50の新機能」](#)

PPM 23.3の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 23.3で導入されました。

注記: PPMバージョン2023から23.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 2023.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン2023の拡張機能を表示するには、[PPM 2023の新機能](#)を参照してください。

強化されたwhat-if分析 (ベータ版)

このリリースでは、what-if分析の新しいバージョンが導入されています。この高度なwhat-if分析には、すぐに使えるさまざまなレイアウトテンプレートが含まれており、さまざまな観点からポートフォリオを分析できます。組織のニーズを満たすカスタムレイアウトテンプレートを作成することもできます。

可用性: 強化されたwhat-if分析はベータ機能として導入され、ポートフォリオレベルでのみ利用可能です。

詳細については、[What-if分析](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

データ分離 (ベータ版)

データ分離機能を使用して、次のデータをデータスペースごとに分離できるようになりました。

- 組織単位
- リソース
- リソースプール
- ユーザー
- チーム

データスペースのメンバーは、そのデータスペースに属するデータの表示または編集のみが可能です。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[データ分離 \(ベータ版\)](#)を参照してください。

ポーランド言語パックのサポート

PPMにポーランド語のサポートが追加されました。
詳細については、[サポート言語](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

メニューの色をカスタマイズする	管理コンソールからPPMメニューの色をカスタマイズできるようになりました。 詳細については、 メニューの色のカスタマイズ を参照してください。
Web UIからセキュリティグループを管理する	PPM Workbenchに加えて、PPM Web UIからセキュリティグループを作成および構成できるようになりました。 詳細については、 Web UIからセキュリティグループを管理する を参照してください。
キャッシュ設定をカスタマイズする	PPMでは、管理者がキャッシュ設定をカスタマイズするための安全な方法を導入しました。 詳細については、 キャッシュ設定の構成 を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

タイムシート明細を削除するときに再確認する	タイムシートの明細を削除すると、確認を求める確認ダイアログボックスが表示されます。これにより、タイムシート明細を誤って削除することがなくなります。 詳細については、 タイムシート明細の削除 を参照してください。
時間フィールドをゼロ値で空白として表示する	[時間の内訳] タブで値がゼロの時間セルを空白として表示できるようになりました。これにより、ユーザーはタイムシートのどこに時間が記録されているかをより明確に確認できるようになります。 この機能は、新しいTM_SHOW_TIME_FIELD_ZERO_VALUES_AS_BLANKパラメーターがtrueに設定されている場合にのみ表示されます。 詳細については、 タイムシートのログ時間 を参照してください。

タイムシートに作業項目を追加するためのクイック検索	<p>作業項目をタイムシートに追加するときに、新しいオプションの [クイック検索で項目を追加] を使用して、名前またはIDで任意のタイプの作業項目を検索できるようになりました。</p> <p>このオプションは、ENABLE_TM_QUICK_SEARCH パラメーターがtrueに設定されている場合に使用できます。</p> <p>詳細については、タイムシートに作業項目を追加するためのクイック検索を参照してください。</p>
ユーザーがクローズ済みリクエストの時間を記録できないようにする	<p>ユーザーがクローズ済みリクエストの時間を記録できないようにできるようになりました。</p> <p>この機能は、新しい TM_CLOSED_REQUEST_RESTRICTION パラメーターをtrueに設定すると有効になります。</p> <p>詳細については、タイムシートへのリクエストの検索と追加を参照してください。</p>
[タイムシートの承認] ポートレットに表示する最大期間を指定する	<p>既存の TM_MAX_PREVIOUS_TIME_PERIODS パラメーターを使用して、[タイムシートの承認] ポートレットの設定を編集するときに選択できる期間の最大数を決定できるようになりました。</p> <p>詳細については、[タイムシートの承認] ポートレットの使用を参照してください。</p>

統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

PPM - Azure DevOps統合	<p>PPMはMicrosoft Azure DevOpsとの統合をサポートするようになりました。次のことが可能です：</p> <ul style="list-style-type: none">• Azure DevOpsプロジェクトの作業項目をPPMプロジェクトタスクにインポートする。• PPMリクエストをAzure DevOps作業項目と統合する。 <p>詳細については、AzureDevOpsとの統合を参照してください。</p>
-----------------------------	--

リクエスト統合のためのWebhookのサポート	Webhookがリクエストの統合でサポートされるようになりました。これにより、PPMでリクエストが作成、変更、または削除されたときに、PPMが外部アプリケーションに即座に通知できるようになります。これにより、アプリケーション間のリアルタイム通信が容易になります。 詳細については、 リクエスト統合にWebhookを使用する を参照してください。
PPM - Jira統合のPAT認証をサポート	PPMは、Jiraとの統合のためのパーソナルアクセストークン (PAT) 認証をサポートするようになりました。 詳細については、 Jiraアジャイルインスタンスの追加 を参照してください。

REST APIの機能拡張

次の機能拡張がREST APIに追加されました。

承認待ちのタイムシートを取得する	<code>/itg/rest2/timesheet/searchTimesheet</code> REST APIを使用して、承認待ちのタイムシートを取得できるようになりました。 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。
プロジェクトマネージャーのユーザー名とユーザーIDを取得する	<code>/itg/rest2/pm/projects</code> REST APIを使用してプロジェクト情報を取得するときに、プロジェクトマネージャーのユーザー名とユーザーIDも取得できるようになりました。 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。
PPMエンティティを移行する	<code>/itg/rest2/migration</code> REST APIを使用して、PPMエンティティをあるインスタンスから別のインスタンスに移行できるようになりました。 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたスタッフィングプロファイルに地域とタスクIDが含まれる	スタッフィングプロファイルをエクスポートするときに、ポジションの地域とタスクIDもエクスポートされるようになりました。 詳細については、 スタッフィングプロファイルのエクスポート を参照してください。
---	---

<p>リソースプールとチームに組織単位を適用する</p>	<p>リソースプールまたはチームを作成するときに、プライマリ組織単位の関連付けを要求できるようになりました。</p> <p>新しいデータ分離機能を使用する場合は、この機能を有効にすることをお勧めします。</p> <p>詳細については、リソースプールの作成を参照してください。</p>
<p>キャンセルされたスタッフィングプロファイルに対する今後の予測とアサインをクリアする</p>	<p>完了したスタッフィングプロファイルに使用可能であった[今後の予測とアサインのクリア] オプションを使用して、キャンセルされたスタッフィングプロファイルの今後の予測とアサインをクリアできるようになりました。</p> <p>詳細については、今後の予測とアサインのクリアを参照してください。</p>
<p>[必要な特定リソース] フィールドと [リソースタイプ] フィールドはカスタム検証をサポートする</p>	<p>スタッフィングプロファイルページと [ポジションの追加] ページで、[必要な特定リソース] フィールドと [リソースタイプ] フィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。</p> <p>詳細については、OOTBフィールドにカスタム検証を使用するを参照してください。</p>

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

<p>ポートフォリオ階層内での戦略調整</p>	<p>新しいフィールド [整列] が、ポートフォリオの [バックログ] タブと戦略テーマの詳細ページに追加されました。このフィールドは、ポートフォリオ階層内のすべてのレベルでの戦略テーマとポートフォリオ品目の間の整列状況に関する洞察を提供します。</p> <p>詳細については、戦略的調整情報のキャプチャーを参照してください。</p>
<p>KPI値は上位ポートフォリオのビジネスゴールにロールアップされる</p>	<p>現在のポートフォリオのビジネスゴールの上位ビジネスゴールを設定すると、現在のポートフォリオのビジネスゴールのKPI値が上位ビジネスゴールにロールアップされます。これにより、ビジネスゴールのパフォーマンスの可視性が向上し、ポートフォリオレベルでの詳細な分析が容易になります。</p> <p>詳細については、ビジネスゴールの追加を参照してください。</p>

ビジネスゴールとKPIは10進数値をサポートする

ビジネスゴールの目標値とKPI値で、小数点以下2桁の数値がサポートされるようになりました。

詳細については、[ビジネス価値の定義と追跡](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

改良された [リクエスト詳細] ページ

リクエスト詳細ページの外観が改善されました。リクエスト詳細をナビゲートするのがより簡単かつ直感的になりました。

詳細については、[リクエストの表示](#)を参照してください。

[リクエスト検索結果] ページに添付ファイルのリンクを表示する

[リクエスト検索結果] ページの添付ファイルフィールドに添付ファイルのリンクが表示されるようになりました。リンクをクリックすると、対応する添付ファイルをダウンロードできます。

詳細については、[リクエストの検索](#)を参照してください。

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

プログラムタイプへのアクセスを設定する

プログラムタイプに対して以下を設定できるようになりました。

- プログラムタイプを編集できる人。
- プログラムタイプを使用してプログラムを作成できる人。

詳細については、[プログラムタイプへのアクセスを設定する](#)を参照してください。

[プログラムタイプ] フィールドにカスタム検証を使用する

[プログラムの検索] ページと [新規プログラムの作成] ページの [プログラムタイプ] フィールドにカスタム検証を使用できるようになりました。

詳細については、[OOTBフィールドにカスタム検証を使用する](#)を参照してください。

APMの機能拡張

アプリケーションとプロセスの動的グラフのレイアウトを変更できるようになりました。

詳細については、[アプリケーションとプロセスの表示レイアウトを変更する](#)を参照してください。



- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 2023の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 2023で導入されました。

ポートフォリオ管理の機能拡張

異なるポートフォリオ階層にある複数のポートフォリオに同じエンティティを追加できるようになりました。この機能は、**[複数のポートフォリオ階層に同じエンティティを追加する]** 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

詳細については、[ポートフォリオコンテンツの追加](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

プロジェクトスケジューリング統合の更新

プロジェクトスケジューリングの統合には、次の更新が含まれています。

- プロジェクト作業計画でOracle Primavera P6 XERおよびXMLファイルをアップロードおよびダウンロードして、PPMとOracle Primavera P6の間でプロジェクトのスケジュール情報を同期できるようになりました。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[作業計画ファイルを使用したスケジューリング統合](#)を参照してください。

- PPM管理者は、**DISPLAYED_SCHEDULING_INTEGRATION_MODES**パラメーターを使用して、プロジェクトスケジューリング統合で選択できる制御モードを制限できるようになりました。

詳細については、[制御モードの決定](#)を参照してください。

タスクユーザーデータは、100フィールドと各フィールドで4,000文字をサポートする

タスクユーザーデータに最大100フィールドを含めることができるようになり、各フィールドに最大4,000文字を含めることができるようになりました。

詳細については、[タスクユーザーデータの構成](#)を参照してください。

<p>[コスト] タブで常に使用できる財務サマリーのリンク</p>	<p>[財務サマリ] リンクは、財務サマリーにコスト明細が含まれているかどうかに関係なく、常に [コスト] タブに表示されます。</p> <p>詳細については、プロジェクトの財務サマリーを開くを参照してください。</p>
<p>マイルストーンの既定の達成率の値を設定する</p>	<p>新しいパラメーター <code>SET_SUCCESSOR_MILESTONE_PERCENTAGE</code> が導入されました。これにより、先行が完了したマイルストーンのデフォルトの完了率の値を設定できます。PPMは、指定された値に基づいてマイルストーンステータスを自動的に更新します。</p> <p>詳細については、タスクをマイルストーンとして設定するを参照してください。</p>

PPM-Agile統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM-Agile統合に追加されました。

<p>PPMリクエストタイプとALM Octaneエンティティタイプマッピングの新しい同期方向</p>	<p>新しい同期方向 PPMリクエスト -> 既存のアジャイルエンティティ が、PPM-ALM Octane統合のために追加されました。これにより、PPMリクエストを既存のALM Octaneエンティティにマップできます。</p> <p>詳細については、PPMリクエストを既存のALM Octaneエンティティにリンクするを参照してください。</p>
<p>PPMリクエストとJira課題の統合のためにJira 9.0をサポート</p>	<p>PPMは、PPMリクエストとJira課題を統合するためのJira 9.0のサポートを追加しました。</p> <p>詳細については、PPMリクエストをJira課題と統合するを参照してください。</p>

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

<p>電子メール通知をファイルとして保存</p>	<p><code>EMAIL_DEBUG_DUMP_FOLDER</code> サーバーパラメーターで指定されたフォルダーに、電子メール通知をファイルとして保存できるようになりました。これにより、STMPサーバーを構成せずに、PPMがユーザーに送信する電子メール通知をテストできます。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
---------------------------------	--

より多くのOOTBフィールドのカスタム検証をサポート	<p>以下を含む、より多くのOOTBフィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ページの提案を含める、プロジェクトを含める、資産を含めるフィールド。• [コストルールの検索] ページと [コストルールの追加] ページの地域およびロールフィールド。• すべてのページとOOTBポートレットのビジネス目標フィールド。 <p>詳細については、OOTBフィールドにカスタム検証を使用するを参照してください。</p>
ほとんどのブラウザーでサポートされている動的グラフ	<p>動的グラフは、最新のブラウザーのほとんどで動作するようになりました。</p> <p>詳細については、動的グラフを参照してください。</p>

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたExcelファイルで財務サマリーの空の値をゼロとして表示する	<p>新しいサーバーパラメーター-EXPORT_NULL_FINANCIAL_DATA_AS_ZERO_TO_EXCELが導入されました。エクスポートされたExcelファイルで空の財務サマリーセルをゼロに置き換えるかどうかを制御できます。</p> <p>詳細については、Excelで空の値をゼロとして表示するを参照してください。</p>
コストルールの編集時にメモを追加する	<p>コストルールを編集するときに、メモを追加してより多くの情報を取得できるようになりました。</p> <p>詳細については、メモの追加を参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたスタッフィングプロファイルには、リソースの電子メールアドレスが含まれる	<p>スタッフィングプロファイルをExcelにエクスポートすると、リソースの電子メールアドレスが [リソース] 列にツールヒントとして表示されます。これは、同じ名前のリソースを区別するのに役立ちます。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルのエクスポートを参照してください。</p>
---	--

提案のスタッフィング プロファイルの地域のデフォルト は提案の地域

提案のスタッフィングプロファイルを作成すると、提案の地域がスタッフィングプロファイルのデフォルト地域として使用されます。

詳細については、[スタッフィングプロファイルの作成](#)を参照してください。

管理の機能拡張

特定のユーザーを保護対象として指定し、意図しない変更を防ぐことができるようになりました。

詳細については、[保護されたユーザー](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

リクエストの詳細をセクションで表示する代わりに、タブで表示できるようになりました。これにより、長いページを上下にスクロールする必要がなくなります。

タブの使用は、[\[\[リクエスト詳細\] ページでタブを使用する\]](#) 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

注記: これはベータ機能です。詳細については、[リクエストの表示](#)を参照してください。

APMの機能拡張

動的グラフは、最新のブラウザーのほとんどで動作するようになりました。詳細については、[動的グラフ](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

新しいオプション [\[\[プロジェクト名\] プリファレンスと同じ順序でプロジェクトを表示\]](#) が、プロジェクトタイムラインポートレット設定ページに追加されました。[プロジェクト名] プリファレンスフィールドで定義されているのと同じ順序でプロジェクトを表示できます。

詳細については、[ポートレットプリファレンスの編集](#)を参照してください。

Internet Explorerの廃止

Microsoft Internet Explorerのサポートは終了しました。代わりに他のブラウザーを使用することをお勧めします。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.4の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.4で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.4のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.4で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0～10.0.3の機能拡張を表示するには、[PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

刷新された戦略タブ

次の2つのサブタブが **[戦略]** タブに追加されました。

- **戦略テーマとビジネスゴール:** ポートフォリオに含まれるすべての戦略テーマとビジネスゴールを一覧表示します。ビジネスゴールは、ビジネスゴールが一致する戦略テーマによってグループ化されます。
- **戦略マップ:** グローバル戦略テーマ、その上位ポートフォリオ、および下位ポートフォリオとのポートフォリオの戦略的整合性を示します。

詳細については、[戦略マップ](#)を参照してください。

戦略テーマとビジネスゴールの詳細で利用可能な戦略的調整情報

戦略テーマとビジネスゴールの詳細ページから戦略的調整情報を表示できるようになりました。

- 戦略テーマを開くと、戦略テーマに沿ったビジネスゴールとイニシアチブを表示できます。
- ビジネスゴールを開くと、ビジネスゴールに関連するKPIの影響値を持つイニシアチブを表示できます。

詳細については、[戦略テーマを表示するとビジネスゴールのパフォーマンスを追跡する](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

より多くのOOTBフィールドのカスタム検証をサポート	より多くのOOTBフィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。 詳細については、 OOTBフィールドにカスタム検証を使用する を参照してください。
FIPS準拠のためにBouncy Castle暗号化ライブラリを適用する	PPMは、FIPS 140-2準拠のために、RSA暗号化ライブラリの代わりにBouncy Castle暗号化ライブラリを適用するようになりました。 詳細については、 FIPS 140-2準拠のPPMの暗号化アルゴリズムの適用 を参照してください。
モバイルアクセスは、Microsoft Exchange OnlineのOAuth認証をサポートする	Eメールからの要求を処理できるようにするPPMモバイルアクセスは、Microsoft Exchange OnlineのOAuth認証もサポートするようになりました。 詳細については、 モバイルアクセスの構成 を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストの検索ページの新しいフィルター	リクエストの検索ページに次のフィルターが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• リクエストの説明が次の文字列を含む: リクエストの説明に含まれるキーワードでリクエストを検索します。• リクエストメモが次の文字列を含む: リクエストノートに含まれるキーワードでリクエストを検索します。 詳細については、 リクエストの検索 を参照してください。
リクエストをキャンセルすると、関連付けられたスタッフィングプロファイルもキャンセルされる	リクエストをキャンセルすると、それに関連付けられたスタッフィングプロファイルもキャンセルされます。 詳細については、 リクエストのキャンセル を参照してください。

PPM-ServiceNow統合

PPMリクエストをServiceNowエンティティと統合できるようになりました。

詳細については、[PPMとServiceNowの統合](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

時間の承認者に再作業されたタイムシートの明細を通知する	承認者によって承認されたタイムシートの明細が再作業されたときに、時間の承認者に通知を送信するようにPPMを構成できるようになりました。 詳細については、 時間の承認者に再作業されたタイムシートの明細を通知する を参照してください。
[時間の承認] ページにタイムシート/タイムシート明細メモを表示する	[時間の承認] ページに、タイムシートとタイムシート明細に入力されたメモが表示されるようになりました。 詳細については、 時間の承認または却下 を参照してください。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

新しいコスト要因: コストカテゴリ	コストカテゴリ コスト要因を使用して、作業計画タスクの実績コストとスタッフィングプロファイルポジションの予測コストを計算できるようになりました。 詳細については、 コスト要因の適用 を参照してください。
通貨の更新	PPMは、通貨に対して次の更新を実装しました。 <ul style="list-style-type: none">南スーダンポンドやスリナムドルなどの通貨を追加しました。ISO 4217規格に準拠するようにいくつかの既存の通貨を更新しました。 詳細については、 財務為替レートと通貨の管理 を参照してください。

管理の機能拡張

一度に複数のユーザーを無効にできるようになりました。

詳細については、[複数のユーザーを同時に無効にする](#)を参照してください。

レポートの機能拡張

ユーザーが無効になっている場合、そのユーザーがスケジュールしたレポートをスキップして自動的にキャンセルできるようになりました。

この機能は、`SKIP_SCHEDULED_REPORT_WHEN_SUBMITTER_DISABLED`および`DELETE_SCHEDULED_REPORT_WHEN_SUBMITTOR_DISABLED_FOR_DAYS`パラメーターが`true`に設定されている場合に有効になります。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

新しいオプション **[自分が管理しているプロジェクト]** が、**[プロジェクトのガント]** および **[プロジェクト タイムライン]** ポートレットの設定ページに追加されました。共有ダッシュボードページのこれらのポートレットで、現在ログインしているユーザーが管理するプロジェクトのみを表示できます。

詳細については、[ポートレットプリファレンスの編集](#)を参照してください。

 **参照:**

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.3の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.3で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0～10.0.2の機能拡張を表示するには、[PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)を参照してください。

PPM-Agile統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM-Agile統合に追加されました。

<p>PPMリクエストタイプとアジャイルエンティティタイプマッピングの同期方向を指定する</p>	<p>PPMは、PPMリクエストタイプとアジャイルエンティティタイプのマッピングに対して、次の新しい同期方向をサポートするようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• アジャイルエンティティ -> 新しいPPMリクエスト: ALM OctaneまたはJiraで作成されたか、すでに存在し、まだPPMリクエストにマップされていないアジャイルエンティティの場合、マップされたリクエストタイプの要求がPPMで自動的に作成されます。• PPMリクエスト -> 既存のアジャイルエンティティ: PPMリクエストを既存のJira課題にマッピングできます。 <p>詳細については、PPMリクエストタイプをJira課題タイプにマップするおよびPPMリクエストタイプをALM Octaneエンティティタイプにマップするを参照してください。</p>
<p>アジャイルツールとの接続をテストする</p>	<p>PPMとの統合のためにアジャイルインスタンスを追加すると、アジャイルツールとの接続をテストできるようになりました。</p> <p>詳細については、アジャイル開発ツールとの統合を参照してください。</p>
<p>マップされたアジャイルエンティティからPPMリクエストのリンクを解除する</p>	<p>マッピングされたアジャイルエンティティからPPMリクエストのリンクを解除できるようになりました。</p> <p>詳細については、エンティティマッピングを削除するを参照してください。</p>
<p>より多くのフィールドタイプマッピングをサポート</p>	<p>PPMは、ALM OctaneおよびJiraとの統合で、フィールドマッピングのより多くのフィールドタイプをサポートします。</p> <p>詳細については、サポートされているPPM-OctaneフィールドタイプマッピングおよびサポートされているPPM-JIRAフィールドタイプマッピングを参照してください。</p>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>セルフサービスポートレットの新しい表示タイプ</p>	<p>セルフサービスポートレット用に2つの新しい表示タイプが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バブルチャート: 3次元のデータを表示します。 • カード: 特定のフィールドからの集計値を表示できます。 <p>詳細については、セルフサービスポートレットの表示オプションを設定するを参照してください。</p>
<p>セルフサービスポートレット用の新しいOOTBデータソース</p>	<p>PPMは、セルフサービスポートレット用の新しいOOTBデータソースKPIを提供するようになり、KPI情報を表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、KPIデータソースを参照してください。</p>
<p>リクエスト、プログラム、ポートフォリオ、チーム用の改良されたダッシュボード</p>	<p>PPMは、リクエスト、プログラム、ポートフォリオ、およびチームのダッシュボードを刷新しました。改良されたバージョンでは、データビューが最適化され、ポートレットのサイズ変更の柔軟性が向上しています。</p> <p>詳細については、リクエストタイプのダッシュボードの設定、プログラムの概要のレイアウトポリシー、ポートフォリオ概要、およびチームの概要を参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>ポジションの地域を指定</p>	<p>[地域] フィールドを使用して、ポジションの地域を指定できるようになりました。</p> <p>詳細については、ポジションの追加を参照してください。</p>
<p>特定の地域からリソースを検索して割り当てる</p>	<p>スタッフィングプロファイルのポジションにリソースを割り当てるときに、特定の地域からリソースを検索できるようになりました。</p> <p>詳細については、リソースファインダーを使用するを参照してください。</p>
<p>ポジションの未処理のデマンドの予測コストを計算するためにPPMが使用する地域を指定する</p>	<p>新しいサーバーパラメーター: FM_SP_POSITION_REGION_PRECEDENCEが追加されました。ポジションの未処理のデマンドの予測人件費を計算するとき、PPMがコストルールを取得するために使用する地域の優先順位を指定できます。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

**スタッフィングプロファイルの
オートコンプリートフィールドで
サポートされるインタラクティブ
なヒント**

リストされたエンティティまたはユーザーとの対話を可能にするオートコンプリートフィールドのインタラクティブなヒントが、スタッフィングプロファイルでも利用できるようになりました。

詳細については、[オートコンプリートフィールドのツールチップを有効にする](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

SAML SSO認証

PPMはSAML SSO認証をサポートするようになりました。ユーザーは、組織内の他のSAML SSOアプリケーションと同様に、SAML SSOを使用してPPMにログインできます。

詳細については、[SAML SSO認証のセットアップ](#)を参照してください。

**アプリケーションの例外を
簡単に表示**

PPMは例外の検索機能を拡張し、管理者がアプリケーション例外を表示して問題をトラブルシューティングしやすくしました。

詳細については、[例外の表示](#)を参照してください。

**外部サイトのコンテンツを
PPMに埋め込む**

新しいサーバーパラメーター: **TRUSTED_EXTERNAL_URLS**が追加され、外部WebサイトのコンテンツをPPMに簡単に埋め込むことができるようになりました。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

**譲渡および削除されたリソースの
アサインオプション**

チームからリソースの参加を100%譲渡または削除する場合、PPMが現在のチームでリソースのアサインをどのように処理するかを選択できるようになりました。

詳細については、[リソースまたはサブチームを別のチームに転送するおよびリソース、名前なしヘッドカウント、サブチームの削除](#)を参照してください。

チームの過負荷率を表示

[**ヒートマップ**] タブに [**過負荷率**] 属性が含まれるようになりました。チームが過負荷になっているかどうか、およびチームがどれだけ過負荷になっているかがわかります。

詳細については、[チーム/リソース別のヒートマップ](#)を参照してください。

OOTBフィールドにカスタム検証を使用する

一部のOOTBフィールドでカスタム検証を使用できるようになりました。

詳細については、[OOTBフィールドにカスタム検証を使用する](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

プロジェクトの概要のレイアウトをデフォルトにリセット

プロジェクトマネージャーは、プロジェクトの概要のレイアウトをリセットして、プロジェクトタイプから継承されたデフォルトのレイアウトを使用できるようになりました。

PPM管理者は、特定のプロジェクトタイプの既存のすべてのプロジェクトの概要レイアウトをリセットして、プロジェクトタイプから継承されたデフォルトレイアウトを使用できるようになりました。

詳細については、[概要のレイアウトをリセット](#)および[既存のプロジェクトの概要のレイアウトをリセット](#)を参照してください。

ポートレットをすべてのプロジェクトダッシュボードに追加する

PPM管理者は、特定のプロジェクトタイプのすべての既存プロジェクトの概要タブに1つ以上のポートレットを追加できるようになりました。

詳細については、[すべてのプロジェクトにポートレットを追加](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオのコンテンツを別のポートフォリオに移動できるようになりました。

詳細については、[ポートフォリオコンテンツを別のポートフォリオに移動する](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

ユーザーが引き続きタイムシートを送信できるように、カスタムタイムシートルール違反を無視するように構成できるようになりました。

詳細については、[タイムシートのカスタムルール](#)を参照してください。

廃止

USE_REGION_OF_RESOURCE_POOL_FOR_POSITION_FORECAST_COSTパラメーターは非推奨です。このパラメーターの設定は、10.0.3へのアップグレード後に記憶されます。このパラメーターを置き換えるには、**FM_SP_POSITION_REGION_PRECEDENCE**パラメーターを使用して、ポジションの未処理のデマンドの予測人件費を計算するときPPMがコストルールを取得するために使用する地域を指定できます。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.2の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.2で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.2のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.2で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0~10.0.1の機能拡張を表示するには、[PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)を参照してください。

新機能ビデオ

PPM 10.0.1~10.0.2に含まれるいくつかの新機能と機能拡張について説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオタイプのデフォルトの戦略テーマとビジネスゴールを設定できるようになりました。デフォルトでは、新しいポートフォリオは、そのポートフォリオタイプから継承された戦略テーマとビジネスゴールを使用します。

詳細については、[ポートフォリオタイプの戦略テーマとビジネスゴールを設定する](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

作業計画のクイックビューの強化された日付ピッカー	作業計画のクイックビューの日付ピッカーには、次の機能拡張が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">• ドロップダウンリストから年と月を選択できるようになりました。• 週の最初の日、地域の設定に基づいて自動的に選択されます。• 月の最初の日または最後の日が週の途中にある場合は、週全体が表示されます。 詳細については、 タスクの詳細の編集 を参照してください。
完全なリストから新しい問題、リスク、またはスコープ変更を記録します	問題、リスク、スコープ変更の完全なリストから、新しい項目をログに記録したり、プロジェクトサマリタブに戻ったりすることができるようになりました。詳細については、 問題、リスク、スコープ変更をログに記録して表示する を参照してください。
作業計画のすべてのビューで利用できる [プロジェクトに戻る] ボタン	[プロジェクトに戻る] ボタンは、以前は作業計画のクイックビューでのみ使用できましたが、他のすべてのビューでも使用できるようになりました。詳細については、 作業計画ビューを理解する を参照してください。
必須のユーザーデータフィールドは、作業計画のすべてのビューに適用されます	タスクにユーザーデータフィールドが必要な場合は、非表示に設定されている場合でも、作業計画のクイックビューでは必須であり、他のビューでは常に表示され、必須です。詳細については、 タスクの詳細の編集 を参照してください。

<p>作業計画のクイックビューの 選択したタスクの上にタスクを 追加</p>	<p>作業計画のクイックビューで、選択したタスクの上にタスクを追加できるようになりました。 詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>
<p>[タスクの追加] ページでタスク アクティビティを定義する</p>	<p>[タスクの追加] ページでタスクを追加するときに、タスクのアクティビティを定義できるようになりました。 詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>リクエストのコピーで 使用可能なオプションを 制御する</p>	<p>PPM管理者は、次のパラメーターを使用して、アジャイル統合フィールド、リクエストメモ、および参照をコピーするオプションを [リクエストのコピー] ページで使用できるようにするかどうかを制御できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COPY_REQUEST_SHOW_COPY_AGILE • COPY_REQUEST_SHOW_COPY_NOTES • COPY_REQUEST_SHOW_COPY_REFERENCES <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>リクエストのコピーオプション のデフォルト値を設定する</p>	<p>PPM管理者は、次のパラメーターを使用して、リクエストをコピーするときにアジャイル統合フィールド、リクエストメモ、および参照をコピーするオプションがデフォルトで選択されるかどうかを制御できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COPY_REQUEST_COPY_AGILE_DEFAULT • COPY_REQUEST_COPY_NOTES_DEFAULT • COPY_REQUEST_COPY_REFERENCES_DEFAULT <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>ワークフローステップの アイコンをより簡単に選択</p>	<p>ワークフローステップのアイコンを選択しやすくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イメージファイルパスを指定する代わりに、リストからイメージを選択できるようになりました。 • .png形式の画像がサポートされています。 <p>詳細については、意思決定ワークフローステップソースの作成を参照してください。</p>

<p>リクエストのリンクをコピー</p>	<p>リクエスト用に [リンクのコピー] ボタンが追加されました。リクエストリンクを任意のアプリケーションにコピーしたり、リンクを他のユーザーと共有したりできます。</p> <p>詳細については、リクエストのリンクをコピーを参照してください。</p>
<p>ユーザーフィールドのツールチップからすべてのユーザーが利用できるユーザー情報</p>	<p>ユーザーフィールドのツールチップから、ユーザーの詳細を表示し、ユーザーへの表示アクセス権がない場合でも、インスタントメッセージや電子メールをユーザーに送信できるようになりました。</p> <p>この機能を有効にするには、[すべてのPPMユーザがヒントにリソース情報を表示できるようにする] 機能切り替えをオンにします。</p> <p>詳細については、オートコンプリートフィールドのツールチップを有効にするを参照してください。</p>
<p>リクエストタイプの新しいアクセス許可</p>	<p>リクエストタイプに検索アクセス許可が追加されました。PPM管理者は、このアクセス許可を使用して、高度なリクエスト検索で特定のリクエストタイプを検索できるユーザーを制御できます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプの参加者の設定および詳細リクエスト検索の実行を参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

<p>チーム管理とチーム割り当てを無効にする</p>	<p>チーム管理とチーム割り当てを使用したくない場合は、関連する機能の切り替えをオフにできるようになりました。</p> <p>詳細については、チーム関連機能の有効化を参照してください。</p>
<p>[デマンド] タブからリソースを割り当てるときに、有効なリソースのみを表示する</p>	<p>[デマンド] タブからリソースをポジションに割り当てると、デフォルトでは有効なリソースのみが選択のために表示されます。</p> <p>詳細については、リソースリクエストまたは保証の割り当てへのリソースのアサインを参照してください。</p>
<p>スタッフィングプロファイル属性によるチームデータのグループ化とフィルタリング</p>	<p>ステータスや終了期間などのスタッフィングプロファイル属性を使用して、次のことができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • チームのデマンドと稼働率のフィルタリング。 • チームのデマンドのグループ化。 <p>詳細については、共通機能を参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

ログマネージャーの更新	<p>[ログマネージャ] ページには、次の更新が含まれています:</p> <ul style="list-style-type: none">• 現在のノードで行われた変更は、クラスター内の他のノードにも適用されます。• [Web UIからログレベルを指定する] 機能切り替えを使用して、このページを表示または非表示にできるようになりました。• 管理コンソールからこのページにアクセスできるようになりました。 <p>詳細については、Web UIからPPMログレベルを指定する (ベータ版) を参照してください。</p>
最新化されたSQL Runnerページ	<p>[SQL Runner] ページが新しくモダンな外観になり、ユーザーエクスペリエンスが向上しました。</p> <p>フルスクリーンでSQLステートメントを編集できるようになりました。キーボードショートカットを使用して、SQLステートメントを実行および循環します。</p> <p>詳細については、SQLクエリを管理コンソールから実行する を参照してください。</p>
パラメーターがStingerの検証に失敗した場合のエラーメッセージとサーバーログ情報の改善	<p>PPMは、リクエストパラメーターがStinger検証に失敗した場合に、より役立つエラーメッセージとサーバーログ情報を提供できるようになりました。これにより、PPM管理者は問題のトラブルシューティングが容易になります。</p> <p>詳細については、サーバーログファイルとセキュリティガイド を参照してください。</p>

PPM - ALM Octane統合の機能拡張

PPMリクエストタイプをALM Octaneエンティティタイプにマッピングすると、次のことができるようになりました。

- PPMリクエストタイプをALM Octaneの共有エピックにマップします。
- すべてのALM Octaneプロジェクトに一致するワイルドカードプロジェクトを選択します。

詳細については、[PPM内からのALM Octaneエンティティの管理](#)を参照してください。

インストールとアップグレードの機能拡張

PostgreSQLデータベースを使用してPPMをインストールまたはアップグレードするときに、次の操作を実行できるようになりました。

- パラメーター値を設定するには、**export**コマンドを使用します。
- PPMをサイレントモードでインストールします。
- PPMファイルシステムのみをアップグレードします。

詳細については、[インストールとアップグレード](#)を参照してください。

リソースプールの分析ポートレットの更新

リソースプールの分析ポートレットを使用して、次のことができるようになりました。

- 管理するすべてのリソースプールを含めます。
- 選択したリソースプールの子リソースプールを除外します。

詳細については、[リソースプールとスタッフィングプロファイルとの比較](#)を参照してください。

kMigratorの改善

kMigratorには、次の改善が含まれています。

- **kMigratorExtract.sh**および**kMigratorImport.sh**スクリプトを使用して、ポートフォリオタイプとPPM統合SDK設定を移行できるようになりました。
- **ignorePpmVersionDifference**パラメーターを使用して、エンティティをインポートするときにバージョンの違いを無視するようにPPMを構成できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

ワークベンチの機能拡張

PPMワークベンチで、ワークフローWorkbench、ワークフローステップソース、およびワークフローウィンドウのサイズを簡単に変更できるようになりました。

詳細については、[ワークフローを構成する](#)および[ワークフローステップソースを構成する](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.1の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.1で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.1のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.1で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0の拡張機能を表示するには、[PPM 10.0の新機能](#)を参照してください。

ポートフォリオ予算

[財務] タブに、ポートフォリオの予算情報が含まれるようになりました。このタブを使用して、ポートフォリオの予算を表示および管理できます。

詳細については、[ポートフォリオ予算](#)を参照してください。

統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

リクエストアジャイルマッピングでのワイルドカードJIRAプロジェクトのサポート

PPMリクエストタイプをJIRAエンティティタイプにマッピングするときに、ワイルドカードJIRAプロジェクトを指定して、すべてのJIRAプロジェクトに一致させることができるようになりました。これにより、JIRAプロジェクトごとに同じリクエストアジャイルマッピングを作成する必要がなくなります。

詳細については、[PPMリクエストタイプとJIRAエンティティタイプのマッピング](#)を参照してください。

PPMタスクとALMリリースの統合のためのAPIキーとSSO認証のサポート

PPMは、PPMタスクとALMリリース間の統合のために、次の認証をサポートするようになりました。

- ALM 12.60以降のバージョンのAPIキー認証。
- ALM 15.5.1以降のバージョンのSSO認証。

詳細については、[PPMタスクとALMリリースの統合を使用する](#)を参照してください。

利用可能なシートをPPMタスクにマップするように制限する	PPM管理者は、指定したワークスペースまたはフォルダーのシートのみをPPMタスクにマップできるように制御できるようになりました。 詳細については、 Smartsheetインスタンスを追加する を参照してください。
PPM-Smartsheet統合でタスク工数フィールドマッピングをサポート	PPMタスクをSmartsheetシートにリンクするときに、Smartsheetタスク工数フィールドをPPMタスク工数フィールドにマップできるようになりました。 詳細については、 PPMタスクをSmartsheetシートにリンクする を参照してください。

レポートの機能拡張

次の拡張機能がPPMレポートに追加されました。

新しいレポートタイプ: Webレポート	Webレポートを使用して、任意の形式のレポートを生成し、レポートファイル名をカスタマイズできるようになりました。 詳細については、 JSPレポート 、 Excelレポート および Webレポート を参照してください。
完了したレポートを電子メール通知に添付する	レポートを実行するときに、完成したレポートを電子メール通知に添付できるようになりました。 詳細については、 レポートの送信 を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

プライベートダッシュボードページを共有する	プライベートダッシュボードページを他のPPMユーザーと共有できるようになりました。 詳細については、 プライベートダッシュボードページを共有する を参照してください。
------------------------------	--

セルフサービスポートレットの更新	<p>次の拡張機能がセルフサービスポートレットに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none">ゲージチャートビューでは、値のリストから選択するだけでなく、ターゲット値を手動で入力できるようになりました。グリッドビューでは、条件付き書式を作成して適用し、グリッドに表示されるデータを強調表示、強調、または区別できるようになりました。 <p>詳細については、セルフサービスポートレットの表示オプションを設定するを参照してください。</p>
Javaポートレットはデフォルトで、現在ログインしているユーザーのデータを表示します	<p>現在ログインしているユーザーを、一部のJavaポートレットのデフォルト設定値として設定できるようになりました。このようなJavaポートレットを共有ダッシュボードページに追加すると、ポートレットはデフォルトで、現在ログインしているユーザーのデータを表示します。</p> <p>このようなJavaポートレットには、アサインの負荷の分析ポートレット、プロジェクトリストポートレット、およびプロジェクトのガントポートレットが含まれます。</p> <p>詳細については、ポートレットプリファレンスの編集を参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

スタッフィングプロファイルの終了期間を変更する際の最も早い月を制御する	<p>STAFFING_PROFILE_END_PERIOD_NO_EARLIER_THAN_MONTHパラメーターを使用して、スタッフィングプロファイルの終了期間を変更する際の最も早い月を制御できるようになりました。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
リソース割り当て管理ページに、完了済みスタッフィングプロファイルからのポジションを表示するかどうかを制御する	<p>リソース割り当て管理ページに、完了済みスタッフィングプロファイルからのポジションを表示するかどうかを制御できるようになりました。</p> <p>詳細については、リソース割り当て管理ページを制御するパラメーターと機能の切り替えを参照してください。</p>

関連リソースプールのステータスを表示する	<p>[リソースプールの表示] ページから、その子および親のリソースプールのステータスを表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、リソースプール情報のロールアップを参照してください。</p>
関連リソースプールを主に関係別に並べ替える	<p>関連リソースプールは、主に関係(親が一番上)、次にステータス(最初に有効)、最後に名前で並べ替えられます。</p> <p>詳細については、リソースプール情報のロールアップを参照してください。</p>
スタッフィングプロファイルの地域カレンダーを使用して、FTE単位でリソースデマンドを計算する(ベータ版)	<p>PPMは、スタッフィングプロファイルの地域カレンダーに基づいてFTE単位でリソース予測デマンドを計算できるようになりました。</p> <p>注記: これはベータ機能です。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルの地域カレンダーを使用してFTE単位で需要を計算するを参照してください。</p>
会社からリソースを検索	<p>特定の会社役に役立つリソースを検索できるようになりました。</p> <p>詳細については、リソースの設定を参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

[パスワードの変更] ページからパスワードをリセットする	<p>[パスワードの変更] ページの [パスワードを忘れた場合] リンクを使用して、パスワードをリセットできるようになりました。</p> <p>詳細については、パスワードのリセットを参照してください。</p>
Web UIからPPMログレベルを指定する(ベータ版)	<p>Web UIから特定の製品機能のログレベルを指定できるようになりました。</p> <p>注記: これはベータ機能です。</p> <p>詳細については、Web UIからPPMログレベルを指定する(ベータ版)を参照してください。</p>

PPMをPostgreSQLデータベースでアップグレードする(ベータ版)

PostgreSQLデータベースを使用するPPMを最新バージョンにアップグレードできるようになりました。

詳細については、[PPMのアップグレード - PostgreSQL \(ベータ版\)](#) を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0で導入されました。

ポートフォリオ財務

財務タブがポートフォリオで利用できるようになりました。このタブを使用して、ポートフォリオのコストとメリットを追跡および管理できます。

詳細については、[ポートフォリオ財務](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの拡張機能

次の拡張機能がセルフサービスポートレットに追加されました。

お気に入りのビュー	これで、セルフサービスポートレットのお気に入りのビューを作成できます。これにより、単一のポートレットを使用して、さまざまな観点から同じデータを分析し、それらを異なる形式で表示できます。 詳細については、 セルフサービスポートレットのお気に入りのビューの管理 を参照してください。
ドリルダウン先ビュー	セルフサービスポートレットのお気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義できるようになりました。これにより、より詳細にドリルダウンできます。 詳細については、 お気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義する を参照してください。
新しい表示タイプ	2つの新しい表示タイプ: サンキーダイアグラム と ゲージダイアグラム がセルフサービスのポートレットに追加され、データレポートの柔軟性が向上しました。 詳細については、 セルフサービスポートレットの表示オプションを設定する を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

管理コンソールでのより包括的なライセンスの使用	管理コンソールは、PPMモジュールベースのライセンスの消費状況、PPMモジュール間で購入したライセンスの配布など、より包括的なライセンス使用情報を提供するようになりました。 詳細については、 ライセンスの使用状況を管理コンソールから表示する を参照してください。
APIキー認証	APIキーを使用して、PPMにアクセスする外部アプリケーションに安全な認証メカニズムを提供できるようになりました。 詳細については、 APIキーアクセスの設定 を参照してください。
カスタムWARファイルをデプロイする	これで、カスタムWARファイルをPPMサーバーにデプロイできます。 詳細については、 PPMサーバーにWARファイルをデプロイする を参照してください。
REST APIを使用してユーザー情報を取得する	これで、REST APIを使用して、地域設定やセキュリティグループなど、現在ログインしているユーザーに関するさまざまな情報を取得できます。 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。

コンカレントライセンスの機能拡張

コンカレントライセンスに次の機能拡張が追加されました。

非アクティブな同時セッションを強制終了する	コンカレントライセンスが不足している場合は、非アクティブなセッションを強制的に閉じてコンカレントライセンスを解放できます。 詳細については、 同時セッションを強制終了する を参照してください。
------------------------------	---

コンカレントライセンス使用の通知

PPMは、ライセンスの同時使用に関する通知を送信できるようになりました。PPMが通知を送信するタイミングと送信先を設定できます。

詳細については、[コンカレントライセンスの使用通知の設定](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストタイプのコマンドをトリガーする新しいルール

関連するリクエストでコマンドを実行すると、リクエストタイプのコマンドをトリガーできるようになりました。

詳細については、[リクエストタイプコマンドのイベントルールを有効にする](#)を参照してください。

すべてのフィールドが非表示になっているときにセクションを非表示にする

UIルールによってすべてのフィールドが非表示になったときに、セクションを非表示にできるようになりました。

詳細については、[基本的なリクエストの編集を実行する](#)を参照してください。

新規特殊コマンド

PPMは新規特殊コマンドを導入しました: `ksc_run_command_in_other_requests`

リクエストの変更が関連するリクエストに影響を与える場合は、リクエストでこのコマンドを実行して、関連するリクエストの任意のコマンドの実行をトリガーできます。これは、単一のコマンドを実行することにより、関連するすべての要求に変更を適用するのに役立ちます。

詳細については、[ksc_run_command_in_other_requests](#)を参照してください。

PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版)

これで、PostgreSQLデータベースを使用してPPMを実行できます。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[PostgreSQLを使用したPPMのインストール](#)を参照してください。

統合の更新

NotionまたはSmartsheetで管理されているタスクをPPM作業計画にインポートできるようになりました。

注記: これらはベータ機能です。

詳細については、[NotionからPPM作業計画 \(ベータ\) へのタスクのインポート](#)および[SmartsheetからPPM作業計画 \(ベータ\) へのタスクのインポート](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日までであることを確認します</p>	<p>[タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日を超えて延長されるのを禁止する] 機能切り替えをオンにすることで、タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日より遅くないことを確認できるようになりました。</p> <p>詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>
<p>作業計画の改善</p>	<p>次の機能拡張が作業計画に追加され、より優れたユーザーエクスペリエンスが提供されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 作業計画のクイックビューでタスク名を編集するときに、編集ボックスが拡大され、タスク名全体が表示されるようになりました。• 作業計画のベースラインの詳細を表示するときに、[Microsoft Project内で作業計画を開く] ボタンが無効になりました。• 作業計画のスケジュールされた作業の編集クイックビューは、他のビューと同じになりました。 <p>詳細については、タスクの詳細の編集を参照してください。</p>

kMigratorの改善

[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)スクリプトを使用してセルフサービスポートレットデータソースを移行できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

廃止

従来のPPMモバイルWebクライアントは、このリリースから非推奨になりました。10.0より前のレガシーPPMモバイルWebクライアントを使用する場合、アップグレード後は、**PPM for Mobile**を使用する必要があります。

詳細については、[PPM for Mobile](#)を参照してください。



- [17ページの「PPMの新機能 - 以前のバージョン」](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 9.66の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 9.66で導入されました。

新機能ビデオ

PPM 9.66に含まれるいくつかの新機能と拡張機能について説明します。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

セルフサービスポートレット データソースを作成する

PPM-suppliedするセルフサービスポートレットデータソースの使用に加えて、PPM管理者はダッシュボードデータソースからセルフサービスポートレットデータソースを作成できるようになりました。

詳細については、[セルフサービスポートレットデータソース](#)を参照してください。

セルフサービスポートレット データソースのODataリンク (ベータ版)

セルフサービスポートレットデータソースのODataリンクを作成できます。これにより、エクスポートを繰り返すことなく、PPMデータをMicrosoft ExcelまたはPower BIに常に同期できます。

詳細については、[セルフサービスポートレットデータソースのODataリンク操作](#)を参照してください。

<p>財務コストデータソースの更新</p>	<p>財務コストデータソースが拡張され、セルフサービスのポートレットに次のデータを表示できるようになりました:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資産と提案の財務コスト。 • ポートフォリオとプログラムの内容の財務コスト。 • プロジェクト期間の全範囲におけるプロジェクトの財務コスト。 • コスト明細のユーザーデータ。 <p>詳細については、財務コストデータソースを参照してください。</p>
<p>セルフサービスのポートレットを追加して、ダッシュボードと[チームの概要]タブをリクエストする</p>	<p>これで、セルフサービスのポートレットを次の場所に追加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ダッシュボードをリクエスト • [チームの概要] タブ <p>詳細については、セルフサービスポートレットの設定を参照してください。</p>
<p>HTML +ポートレットを境界なしで表示する</p>	<p>HTML +ポートレットを境界なしで表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、標準ポートレット定義の作成を参照してください。</p>
<p>ドリルダウン先ポートレットの更新</p>	<p>次のオプションは、ドリルダウン先のポートレットでもサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大化されたビュー • 表示列の選択 <p>詳細については、ポートレットのドリルダウンページを定義するを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

<p>メンバータブの更新</p>	<p>メンバー タブから、次のことができるようになりました:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前のないリソースを追加または削除する。 • サブチームを削除するか、別のチームに転送する。 • チームリソースとサブチームのキャパシティを表示する。 • 組織図ビューでチームを表示する。 <p>詳細については、チームキャパシティの管理およびチームメンバーの表示を参照してください。</p>
-------------------------	---

デマンドタブの更新	デマンド タブからリソースをポジションにアサインする場合、次のことができるようになります: <ul style="list-style-type: none">• 選択したリソースをコミットする。• ポジションのデマンドを選択したリソースに均等に配分する。 詳細については、 リソースのリソースへのアサインリクエスト または 約束されたアサイン を参照してください。
ヒートマップタブの更新	<ul style="list-style-type: none">• データは、より意味のある情報を提供するために最適化。• データは時間および人日単位でも表示可能。 詳細については、 チームヒートマップ を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストを保存するときにコマンドを実行する (ベータ版)	リクエストを保存するときに、リクエストタイプのコマンドを実行することもできます。 詳細については、 リクエストタイプコマンドのイベントルールを有効にする を参照してください。
参照されているプロジェクトまたはプログラムの名前の変更は、リクエストに反映される	リクエストがプロジェクトまたはプログラムを参照している場合、参照されているプロジェクトまたはプログラムの名前が変更されると、新しい名前がリクエストに反映されます。 詳細については、 リクエストヘッダータイプのフィールドグループ を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

カスタム計算によるプロジェクトの進捗状況の定義	カスタムメソッドによって計算されたプロジェクトの進行状況を示すプロジェクトフィールドを定義します。PPMは、フィールド値に基づいてプロジェクトの進捗状況を表示します。 詳細については、 スケジュールポリシー を参照してください。
--------------------------------	---

タスクの実績を使用してリソース負荷を計算する

PPMでは、作業計画タスクの実績を使用してリソース負荷を計算できるようになりました。

詳細については、[リソース負荷設定](#)を参照してください。

プログラム管理の機能拡張

プログラムダッシュボードセクションが [プログラムの概要] ページに追加されました。このセクションにポートレットを追加して、プログラムのリアルタイム情報を表示できます。

詳細については、[プログラムの概要のレイアウトポリシー](#)を参照してください。

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、タイムシートラインのアクティビティ、料金コード、およびユーザーデータを追加できるようになりました。

詳細については、[アクティビティ、料金コード、ユーザーデータの追加](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

PPMは、リソースの地域カレンダーに基づいてFTEユニットのリソース工数を計算できるようになりました。

可用性: これはベータ機能です。これは、リソース割り当て管理ページのガントビューおよびスタッフィングプロファイルの新しいUIで使用できます。

詳細については、[地域カレンダーを使用してFTEユニットの労力を計算する](#)を参照してください。

統合の更新

PPMは、PPMタスクとALM Octaneプロジェクトを統合するためのSSO認証をサポートしています。

詳細については、[PPMタスクとALM Octaneプロジェクトのリンク](#)を参照してください。

拡張機能の更新

Oracle E-Business Suite 12.2.3以降のバージョンでファイルを移行するときに、ファイルシステムの実行とパッチを自動的に取得できるようになりました。

詳細については、[PPM機能拡張と移行機能](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

これで、REST APIを使用して、コスト要因、コストルール、および為替レートを管理できます。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

ライセンスアサインの変更に関する監査証跡

ライセンスアサインの変更は、ITG_AUDIT_EVENTSテーブルに記録されるようになりました。

詳細については、[ユーザーへのライセンスのアサイン](#)を参照してください。

認証用のJWTのサポート

PPMは、RESTful WebサービスのJSON Web Token (JWT) 認証をサポートするようになりました。

詳細については、[PPM RESTful Webサービスの概要](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.65の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 9.65で導入されました。

新機能ビデオ

PPM 9.65に含まれるいくつかの新機能と拡張機能について説明します。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

<p>高度なアサイン</p>	<p>高度なアサインを使用して、スキルとロールがリソースリクエストに最も適しているリソースを見つけてアサインできます。その間、リソースの残存キャパシティをチェックして、誰も過負荷になっていないことを確認できます。</p> <p>詳細については、高度なアサインを参照してください。</p>
<p>[稼働率] タブ</p>	<p>稼働率タブがチームの詳細ページで利用できるようになりました。チームメンバーのアサインを表示し、ワークロードのバランスを取るために適切なアクションを実行できます。</p> <p>詳細については、チームの稼働率を表示および編集するを参照してください。</p>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>セルフサービスポートレットの新しいビュータイプ: グリッドビュー</p>	<p>新しい表示タイプ: グリッドビューがセルフサービスポートレットに追加され、データを多次元の表形式で表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、表示オプションの設定 - セルフサービスポートレットを参照してください。</p>
<p>セルフサービスポートレットの新しいデータソース: 財務コスト</p>	<p>新しいデータソース: 財務コストがセルフサービスポートレットに追加され、プロジェクト、プログラム、およびポートフォリオの財務コストが表示されます。</p> <p>詳細については、財務コストデータソースを参照してください。</p>
<p>より多くのページにセルフサービスポートレットを追加する</p>	<p>[ポートフォリオタイプの設定] ページと [ポートフォリオの概要] タブに加えて、次のページにセルフサービスポートレットを追加できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトタイプの設定ページ • [プロジェクトの概要] ページ • PPMダッシュボードページ
<p>HTML+ポートレットの表示モードを切り替えるオプションを非表示にする</p>	<p>[HTML+ポートレットの表示モードを切り替えるオプションを非表示にする] 機能切り替えがオンになっている場合、表示モードを切り替えるオプションはHTML+ポートレットで非表示になります。</p> <p>詳細については、表示オプションの設定 - HTML +ポートレットを参照してください。</p>

マイタイムシートアプリの機能拡張

PPM for Mobileのマイタイムシートアプリを使用して、タイムシートの明細を作り直すことができます。

詳細については、[タイムシートの明細の再作業](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

新規検証コンポーネントタイプ: チェックボックス	新規コンポーネントタイプ: チェックボックス が検証に追加されました。このコンポーネントタイプのフィールドは、[リクエストの詳細]ページにのみ追加できます。 詳細については、 検証の使用 を参照してください。
[参照] セクションでのクイック検索	リクエスト、プロジェクト、プログラム、パッケージ、およびタスクの [参照] セクションで参照を簡単に見つけることができるようになりました。 <ul style="list-style-type: none">添付ファイルを参照として追加するときに、添付ファイルのキーワードを定義できます。キーワードは、複数の添付ファイルを区別し、添付ファイルをよりすばやく見つけやすくするのに役立ちます。検索ボックスが各参照サブセクションに追加されました。ターゲットサブセクションに含まれるテキスト文字列で参照を検索できます。 詳細については、 添付ファイルをリクエストに対する参照として追加する および 参照の検索とダウンロード を参照してください。
リクエストの添付ファイルをZIPファイルとしてダウンロードする	これで、リクエストのすべての添付ファイルをZIPファイルとしてダウンロードできます。 詳細については、 参照の検索とダウンロード を参照してください。
setFieldEditable() UIルールがテーブルコンポーネントでも機能	フィールドを編集可能または編集不可能にするUIルール: setFieldEditable() は、テーブルコンポーネントでも機能するようになりました。

リクエストタイプルールの新しい依存条件: はnullではありません

新しい依存関係条件: **はnullではありません**がリクエストタイプルールに追加されました。
詳細については、[高度なリクエストタイプルールの作成](#)を参照してください。

ガントチャートの機能拡張

PPMでは、ガントチャートの一部を刷新しました。新しいモダンな外観と改善されたユーザーエクスペリエンスを提供します。

詳細については、[ガントチャート](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

カスタムHTTPヘッダーからクライアントIPを読み取り

サーバーパラメーター `REMOTE_IP_HTTP_HEADER` を使用して、PPMがクライアントIPを読み取るカスタムHTTPヘッダーを設定できます。

これにより、Webサーバーまたはロードバランサーが使用されているときに、WebサーバーまたはロードバランサーのIPではなく、実際のクライアントIPがキャプチャーされます。

詳細については、[KNTA_LOGON_ATTEMPTS](#)および[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

リクエストダッシュボードとプロジェクトの概要のレイアウトの移行をサポート

これで、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)スクリプトを移行に使用できます。

- リクエストタイプのダッシュボード設定
- プロジェクトタイプの概要レイアウト設定

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

プログラム管理の機能拡張

これで、既存のプログラムタイプをコピーしてプログラムタイプを作成できます。

詳細については、[プログラムタイプの作成と設定](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

タイムシートの手数料コードを非表示にすることができるようになりました。**[タイムシートの手数料コードを非表示にする]**機能切り替えをオンにすると、手数料コードがタイムシートに表示されなくなります。

- [手数料コード] セクションが [明細の詳細] ページから削除されました。
- [手数料コードを含める] オプションは、[タイムシートの作成] ページと [タイムシートのコピー] ページから削除されました。

詳細については、[時間のレポート](#)を参照してください。

ドキュメントの機能拡張

PPMで頻繁に使用されるシステム特殊コマンドのいくつかを文書化しました。

詳細については、[特殊コマンドの使用](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.64の新機能

このセクションでは、PPM 9.64で導入または拡張された機能の概要を説明します。

マイタイムシートアプリ

マイタイムシートアプリがPPM for Mobileで利用できるようになりました。このアプリを使用して、タイムシートを作成、更新、送信できます。

詳細については、[タイムシートの作成と送信](#)を参照してください。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チームのデマンド

デマンドタブがチームの詳細ページで利用できるようになりました。これにより、中央の場所からチームのデマンドと割り当てにアクセスして管理できます。

詳細については、[チームのデマンドを表示](#)を参照してください。

チームタブの新しい名前	チームの詳細ページで次のタブの名前を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">• メンバーとしてのチームリスト• ロードマップとしてのチームガント• ヒートマップとしてのチームヒートマップ
--------------------	---

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

オートコンプリートフィールドのツールチップを有効にする	PPM管理者は、ツールチップを表示するオートコンプリートフィールドを構成できます。ツールチップから、ユーザーは次のことができます。 <ul style="list-style-type: none">• フィールドにリストされているエンティティの情報を表示する• エンティティの詳細ページに移動する• ユーザータイプフィールドの場合は、リストされているユーザーにチャットまたはメールを送信する 詳細については、 オートコンプリートフィールドのツールチップの有効化 を参照してください。
一括更新とクイック編集の進行状況を表示する	一連のリクエストに対して一括更新またはクイック編集を実行すると、更新の進行状況が表示されます。

プロジェクト管理の機能拡張

次の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

カスタム計算によるプロジェクトヘルスの定義

カスタムメソッドによって計算されたプロジェクトヘルスを示すプロジェクトフィールドを選択すると、PPMはフィールド値に基づいてプロジェクトヘルスを表示します。

詳細については、[プロジェクトヘルスポリシー](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期する	<p>プロジェクトの日付が変更されると、関連スタッフィングプロファイルの日付がプロジェクトの新しい日付で自動的に更新されます。</p> <p>この機能は、[スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期する]機能切り替えがオンになっている場合にのみ有効になります。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期するを参照してください。</p>
アサインの負荷の分析ポートレットの機能拡張	<p>次のオプションがアサインの負荷の分析ポートレットに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 選択した作業項目に対するアサインのみをポートレットに含めます• プログラム、パッケージ、その他の実際の作業もポートレットに含めることができます <p>詳細については、アサインの視覚化を参照してください。</p>

kMigratorの改善

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

データソースフィルター列の高度なデフォルト値の移行をサポートする

kMigratorExtract.shおよびkMigratorImport.shスクリプトを使用して、データソースのフィルター列の高度なデフォルト値を移行できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

ヘルプセンター共有ボタン

ヘルプセンターのツールバーに、新しい共有ページボタン  が含まれるようになりました。

- Facebook、Twitter、LinkedIn、または電子メールでヘルプトピックを共有できます。
- トピックリンクをクリップボードにコピーして、他のアプリケーションに貼り付けることもできます。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.63の新機能

このセクションでは、PPM 9.63で導入または拡張された機能の概要を説明します。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>[リクエスト詳細] ページの新しいセクション: ダッシュボード</p>	<p>ダッシュボードセクションが[リクエスト詳細] ページに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• PPM管理者は、以下のPPMメニューからリクエストタイプのダッシュボードを設定できます。開く > 管理 > リクエストタイプの管理 <p>詳細については、リクエストタイプのダッシュボードの設定を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 設定すると、[ダッシュボード] セクションが [リクエスト詳細] ページに表示され、リクエスト情報をまとめて表示できるようになります。 <p>詳細については、[リクエスト詳細] ページ、[ダッシュボード] セクションを参照してください。</p>
<p>リクエストタイプルールのコピー</p>	<p>同じリクエストタイプまたは他のリクエストタイプからリクエストタイプルールをコピーできます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプルールのコピーを参照してください。</p>
<p>リクエストリレーションシップの設定</p>	<p>リクエストタイプに相互フィールドを作成することで、2つのリクエスト間のリレーションシップを設定できます。</p> <p>詳細については、リクエストリレーションシップの設定 (ベータ版) を参照してください。</p>

<p>テーブルコンポーネントにグリッドビューが追加された</p>	<p>テーブルコンポーネントにグリッドビューが追加され、テーブルコンポーネントデータのフィルタリング、グループ化、および並べ替えが可能になりました。</p> <p>詳細については、テーブルコンポーネントグリッドビューを参照してください。</p>
<p>Excelからテーブルコンポーネントをインポートする</p>	<p>リクエスト詳細ページで、Microsoft Excelからテーブルコンポーネントをインポートできます。</p> <p>詳細については、Excelからテーブルコンポーネントをインポートするを参照してください。</p>
<p>テキスト領域検証用の新しいデータマスク: HTML - リッチテキストフィールド</p>	<p>新しいデータマスク: HTML - リッチテキストフィールドがテキスト領域の検証に追加されました。この新しいデータマスクは、リクエストタイプまたはリクエストヘッダータイプのテキスト領域フィールドでのみ使用できます。</p> <p>詳細については、テキスト領域の検証設定を参照してください。</p>
<p>特定のリクエストタイプのリクエストをコピーしないようにする</p>	<p>ユーザーが特定のリクエストタイプのリクエストをリクエストの詳細ページからコピーできないようにするには、ラジオボタン有効なコピーリクエストをいいえとします。ただし、ユーザーは特殊コマンドを実行することで依然リクエストをコピーできます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプの一般情報の設定を参照してください。</p>
<p>[リクエスト詳細] ページの視覚化が改善されました</p>	<p>[リクエスト詳細] ページの表示は、よりユーザーフレンドリーです。</p> <ul style="list-style-type: none">• ページを下にスクロールすると、アクションボタンの右側にリクエストタイプとリクエスト番号が表示されました。• 新しいボタン: トップに戻るが [保存] ボタンの左側に追加されました。このボタンをクリックすると、ページの一番上に移動します。 <p>詳細については、[リクエスト詳細] ページ、上部セクションを参照してください。</p>

<p>REST APIを使用して、既存のリクエスト間の参照を関連づける</p>	<p>REST API <code>put/dm/requests/{requestId}/addReference/{targetReqIds}/{refRelName}</code>を使用して、既存のリクエスト間の参照を関連付けることができます。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>
<p>リクエストタイプの高度な検索では、リクエストヘッダタイプによるフィルタリングもサポートされています</p>	<p>REST API <code>post/dm/requestTypes/{id}/requests/advancedSearch</code>を使用して特定のリクエストタイプの高度な検索を実行する場合、リクエストヘッダタイプでフィルタリングすることもできます。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>
<p>RequestRulesUserLibrary.jsが有効になるよう変更を加える簡単な方法</p>	<p>次の方法を使用して、RequestRulesUserLibrary.jsへの変更を有効にすることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラウザーのキャッシュを消去する (ウェブブラウザでCtrl+F5を押す)、または • PPMサーバーを再起動する、または • パラメーターCHECK_STATIC_JS_FILES_UPDATESをtrueに設定する

ポートフォリオタイプ

ポートフォリオタイプを使用して、ポートフォリオタイプを使用するポートフォリオにデフォルト設定またはビジネスルール(またはポートフォリオ設定)を課すことができるようになりました。

- PMOは、ポートフォリオタイプを作成および構成して、組織内のさまざまなポートフォリオセットの管理を標準化できます。ポートフォリオタイプ「企業」は、インストールまたはアップグレード時に含まれます。詳細については、[ポートフォリオタイプ](#)を参照してください。
- ポートフォリオを作成するとき、ポートフォリオマネージャーは、ポートフォリオに適用する設定のポートフォリオタイプを選択できます。詳細については、[ポートフォリオの作成と設定](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

エンティティタイプのアイコンをカスタマイズする	PPMエンティティタイプのアイコンをカスタマイズできます。アイコンは、ポートフォリオ管理モジュールとチーム管理モジュールのページに表示されます。 詳細については、 PPMエンティティタイプのアイコンのカスタマイズ を参照してください。
リストの検証値の編集の改善	<ul style="list-style-type: none">• リストの検証値の編集ページから、リストの検証値のユーザーデータを編集できます。• チェックボックスExcelファイルに含まれていないロックアップを削除するが、誤って値を削除しないように[リスト検証値の編集]ページに追加されました。 詳細については、 Web UIからのリスト検証値の編集 を参照してください。 注記: アップグレード前にダウンロードしたExcelファイルは機能しなくなるため、アップグレード後に検証ロックアップExcelファイルを再度ダウンロードする必要があります。
テーブルコンポーネントルールのコピー	他のテーブルコンポーネントからテーブルコンポーネントルールをコピーできます。 詳細については、 ルールの設定 を参照してください。

PPM-JIRA統合の更新

次の機能拡張がPPM-Jira統合に追加されました。

JIRAからPPMにリソースをインポートするかどうかを選択する	JIRA課題にアサインされたリソースを、マップされたPPMタスクのリソースデータフィールドにインポートするかどうかを決定できます。 詳細については、 作業計画統合オプション を参照してください。
Jira問題ステータスをPPMリーフタスクステータスにマップ	[統合構成] ページで、Jira問題ステータスをPPMリーフタスクのステータスにマッピングできます。 詳細については、 Jira問題ステータスをPPMタスクステータスにマップする に参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

HTML +ポートレット定義を編集するときのクイック保存	HTML+ポートレット定義のコードを編集する場合、 クイック保存 ボタンをクリックするか、CtrlとSを押すと、ページをリロードせずに変更を保存できます。その結果、HTML +ポートレットをテストし、離れた場所に戻って編集を続けることができます。 詳細については、 表示オプションの設定 - HTML +ポートレット を参照してください。
セルフサービスポートレットに追加された新しいチャートタイプ	次の新しいチャートタイプがセルフサービスポートレットに追加されました。 折れ線グラフ、面グラフ、積み上げ面グラフ、円グラフ、ドーナツグラフ 。 詳細については、 表示オプションの設定 - セルフサービスポートレット を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

作業計画内のチームアサイン	機能切り替えの [作業計画内のチームアサイン] をオンにすると、チームがスタッフィングプロファイルのポジションにアサインされるときに、このチームのリソースを作業計画タスクにアサインすることができます。 詳細については、 タスク上での複数のリソースのブック処理 を参照してください。
スタッフィングプロファイルとリソースプール検索結果をXLSXファイルにエクスポートする	スタッフィングプロファイルとリソースプールの検索結果をExcelにエクスポートすると、XLSファイルではなくXLSXファイルにエクスポートされます。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

タイムシートのコピーオプションを設定する	PPM管理者は、機能の切り替えを使用して次のことを決定できます。 <ul style="list-style-type: none">• ユーザーがWeb UIからタイムシートをコピーできるかどうか。• コピーしたタイムシートに含めるデータの選択。 詳細については、 タイムシートのコピー を参照してください。
Rest APIを使用して保留中のタイムシートを取得する	時間の承認者は、REST API <code>Get/tm/timeSheets/approvable</code> を使用して、承認待ちのタイムシートのリストを取得できます。詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。

チーム管理の機能拡張

次の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チーム概要のポートレット

PPMは次の2つのポートレットを提供します。**リソース数**と**チームのランニングコスト**。これらの2つのポートレットを [チームの概要] タブに追加できます。

詳細については、[リソース数および合計ランニングコスト](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

コストルールを検索するときに新しいUIを使用する

[**コストルールの検索時に新しいUIを使用**] 機能切り替えをオンにすると、コストルールの検索時に、返されたコストルールのリストが新しいUIに表示されます。必要に応じてコストルールをグループ化できます。

詳細については、[コストルールの管理](#)を参照してください。

注記: ブラウザーのWebストレージが有効になっていることを確認してください。これにより、新しいUIの全機能を利用できるようになります。

Kubernetesサポート (ベータ版)

PPMはKubernetes環境をサポートするようになりました。



- [PPMのReadme](#)

PPM 9.62の新機能

このセクションでは、PPM 9.62で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

新しいビュー: ポートフォリオバックログ のロードマップ	ロードマップ ビューがポートフォリオバックログに導入されました。ポートフォリオコンテンツのスケジュール関連情報をすばやく表示できます。 詳細については、 ロードマップビュー を参照してください。
ポートフォリオバックログ でバックログアイテムを 直接編集する	詳細ページを開かなくても、ポートフォリオバックログ 単純リスト ビューと ボード ビューでバックログアイテムを直接編集できます。 詳細については、 単純リストビュー および ボードビュー を参照してください。
新規アクセス許可: ポートフォリオの作成	ポートフォリオの作成 アクセス許可が追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• 新規ユーザーの場合、ポートフォリオを作成するには、ポートフォリオの作成権限が必要です。• アップグレードされたユーザーの場合、アップグレード前に [ポートフォリオの編集] または [すべてのポートフォリオの編集] アクセス許可がある場合、デフォルトでは、アップグレード後に [ポートフォリオの作成] 権限があります。 詳細については、 ポートフォリオ管理権限 を参照してください。
ポートフォリオの コンテンツとタイムライン タブを非表示にする	PPMには、管理者がポートフォリオの詳細ページの [コンテンツ] タブと [タイムライン] タブを非表示にするための2つのパラメーターが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• SHOW_PORTFOLIO_CONTENTS_IN_PORTFOLIO• SHOW_PORTFOLIO_TIMELINE_IN_PORTFOLIO 詳細については、 サーバーパラメーター を参照してください。

チャットボットの機能拡張

次の機能拡張がPPMチャットボットに追加されました。

チャットボットが通知を送信できるようにする	さまざまなイベントの通知を送信するようにPPMチャットボットを構成できます。PPMは、すぐに使用できる2つの通知テンプレートを提供します。チャットボットの新しいテンプレートを作成して、他のイベントの通知を送信することもできます。 詳細については、 チャットボットの設定通知を送信する を参照してください。
ユーザーがチャットボットでワークフローステップを処理できるようにする	受信者がチャットボットのワークフローステップに基づいて行動できるように、決定ワークフローステップを構成できます。 詳細については、 チャットボットで意思決定ワークフローステップの実行を有効にする を参照してください。
チャットボットウェルカムセンテンスをカスタマイズする	チャットボットがユーザーに送信するウェルカムセンテンスをカスタマイズできます。 ウェルカムセンテンスのカスタマイズ を参照してください。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チームの概要タブのカスタマイズ	<ul style="list-style-type: none">• PPM管理者は、システム内のすべてのチームの[概要]タブのデフォルトビューを設定できます• チームマネージャーは、チームの概要レイアウトを変更して、デフォルト設定を上書きできます。 詳細については、 概要タブのデフォルト設定とチームの概要 を参照してください。
無効にされたチームを表示	[無効にされたチームを表示] チェックボックスをクリックすると、[マイチームとすべてのチーム] ページで無効なチームを表示できます。 詳細については、 チームのセットアップ を参照してください。

他のチームにすでに追加されているリソースを追加すると、確認がポップアップ表示される

すでに他のチームにあるリソースをチームに追加すると、確認ウィンドウがポップアップ表示され、これらのリソースをチームに追加すると、それらのリソースも削除され、それらのチームのキャパシティがクリアされることを通知します。

詳細については、[リソースの追加](#)を参照してください。

機能拡張のインストール

PPM 9.62は、次の方法でインストールできます。

- PPM 9.62を直接インストールします。特殊コマンドinstall_auto.shを使用して、PPM 9.62をインストールします。

詳細については、[PPM 9.62のインストール](#)を参照してください。

- 9.6xからアップグレードします。

詳細については、[PPM 9.61-9.62へのアップグレード](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

セルフサービスポートレット

新しいポートレットタイプ: **セルフサービスポートレット**が導入されました。ポートフォリオモジュールで使用できます。表示するデータとその表示方法を完全に柔軟に定義できます。

詳細については、[表示オプションの設定 - セルフサービスポートレット](#)を参照してください。

改良されたピボットテーブルポートレットサポートフィルターのすべての行と列

改良されたピボットテーブルのすべての行と列は、ページングフィルターとして使用できます。ピボットテーブルの右側にある[フィルター]ペインをクリックして、フィルターを選択します。

**改良されたピボットテーブル
ポートレットは、ピボットデータセットの
制限を無視します**

改良されたピボットテーブルのポートレットは、[ピボットデータセットの制限を無視する] 機能切り替えがオンになっている場合、server.confファイルのパラメーターによって制御されるピボットデータセットの制限を無視します。

詳細については、[ピボットテーブルのサイズと一意の値の数を制御する](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

**PPMユーザーがパスワードを
リセットできるようにする**

- 管理者は、ユーザーが毎回連絡することなくPPMパスワードをリセットできるようにすることができます。ユーザーに送信されるパスワードリセットメッセージをカスタマイズできます。

詳細については、[ユーザーによるパスワードのリセットの有効化](#)を参照してください。

- PPMにログインするときに、パスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットして新しいパスワードを作成できます。

詳細については、[パスワードのリセット](#)を参照してください。

**PPMサーバーにファイルを
アップロードする**

PPMサーバーが開発モードで実行されている場合は、管理コンソールからPPMサーバーにファイルをアップロードできます。

詳細については、[<PPM_Home>ディレクトリへのファイルのアップロード](#)を参照してください。

**最後に成功したログオン試行と
失敗したログオン試行の時間を
追跡する**

このバージョン以降、PPMは最後に成功したログオン試行と失敗したログオン試行の時間を追跡します。情報を表示するには、PPMページの右上隅にあるリソースアイコンをクリックします。

kSync.shの改善	<p>次の機能拡張がkSync.shに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• パラメーターを使用して、データベースのパスワードを渡すことができます。• PPMサーバーの実行中に、「content」フォルダーをデプロイできます。 <p>詳細については、kSync.shを参照してください。</p>
サーバーを再起動する前に、「content」フォルダーと「customization」フォルダーを再デプロイします	<p>管理コンソールからPPMサーバーノードを再起動すると、サーバーを再起動する前に「content」および「customization」フォルダーを再デプロイできます。</p> <p>詳細については、PPMノードの再起動を参照してください。</p>
起動前にファイルシステムのバージョンをデータベースのバージョンと照合する	<p>PPM Centerは、開始する前にファイルシステムのバージョンとデータベースのバージョンを比較します。ファイルシステムのバージョンがデータベースのバージョンと異なる場合、PPMは起動に失敗します。</p> <p>詳細については、起動チェックを参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

プログラムを検索するときに完成したプログラムを除外する	<p>ラジオボタン終了したプログラムを含める: が[プログラムの検索]ページに追加されました。デフォルトでは、プログラムを検索すると、完成したプログラムは検索結果から除外されます。</p> <p>Webサービスを呼び出してプログラムを検索する場合は、完成したプログラムを検索結果から除外するように選択できます。</p> <p>詳細については、プログラムの検索および searchProgramを参照してください。</p>
------------------------------------	---

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

クイックビューに作業計画でのスケジュールされた工数を手動で入力する	タスクの詳細ページで [スケジュールされた工数を手動で制御] オプションが選択されている場合、作業計画のクイックビューでリーフタスクのスケジュール作業を手動で入力できるようになりました。
Rest APIを使用してプロジェクトの状態をオーバーライドする	これで、Rest APIを使用してプロジェクトヘルスをオーバーライドできます。 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

コストビューでのスタッフィングプロファイルのエクスポート	以前は、コストビューでスタッフィングプロファイルのエクスポートすると、エクスポートされたExcelにポジションのデマンドとアサインメントが表示されていました。 これで、ポジションのデマンドとアサインが、エクスポートされたExcelのコストに表示されます。コストは、スタッフィングプロファイルのコストビューで選択した通貨で表示されます。
特定のプールのリソースカレンダーとリソース情報ページをマイリンクに追加します	特定のリソースの [リソースカレンダー] または [リソース情報] ページを表示していて、そのページを [マイリンク] に追加すると、ページリンクにリソースが記憶されます。次回マイリンクからページを開くときに、リソースを再度指定する必要はありません。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

マイタイムシートポートレットに合計工数を表示する	合計工数列がマイタイムシートポートレットに追加されました。詳細ページに移動しなくても、各タイムシートの合計工数を表示できます。
---------------------------------	---

Rest APIを使用してリソースのカレンダーを取得する	Rest APIを使用して、特定のリソースのカレンダーを取得できます。
Rest APIを使用してタイムシートをキャンセルする	Rest APIを使用して、未提出のタイムシートをキャンセルできます。
Rest APIを使用して、特定のタイプの作業項目を検索する	Rest APIを使用して、特定のタイプの作業項目を検索できます。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

クイック編集ページからリクエストを作成する	クイック編集ページからリクエストを作成できます。 詳細については、 クイック編集ページからのリクエストの作成 を参照してください。
フィールド値を設定するためのUIルール	新しいUIルールがリクエストタイプに導入されました。これにより、URLパラメーターからトークン値を読み取り、対応するリクエストフィールドに設定できます。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

基本通貨でのコストとベネフィットの編集を無効にする

「ユーザが基本通貨でコストとベネフィットを編集できるようにする」機能切り替えをオフにすると、ユーザーは財務サマリのコストとベネフィットを現地通貨でのみ編集できます。[コストの追加と編集とベネフィットの表示、追加、編集](#)を参照してください。

廃止

次のアイテムは廃止になりました。

DMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTパラメーターが削除されました。代わりにDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_ALLOW_LISTパラメーターを使用してください。

アップグレード前にDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTパラメーターの値を設定した場合、アップグレード後に目的の種類ファイルPPMにアップロードするには、新しいパラメーターに値を追加する必要があります。

 参照:

- [「PPM 9.61の新機能」](#)
- [78ページの「PPM 9.60の新機能」](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 9.61の新機能

このセクションでは、PPM 9.61で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

ポートフォリオバックログに追加された新しいビュー	ポートフォリオバックログに次の2つの新しいビューが導入されました。 階層とボード 。ビューは、バックログアイテムを整理および表示するためのさまざまな方法を提供します。 詳細については、 ポートフォリオバックログビュー を参照してください。
ポートフォリオ概要のカスタマイズ	有効にすると、PPM管理者はシステム内のすべてのポートフォリオの [概要] タブのデフォルトビューを設定でき、ポートフォリオマネージャーはポートフォリオの概要レイアウトを変更してデフォルト設定を上書きできます。 詳細については、 ポートフォリオ概要 を参照してください。
グローバルポートフォリオと上位ポートフォリオの戦略テーマをコピーする	これで、グローバルポートフォリオと上位ポートフォリオの戦略テーマをポートフォリオにコピーしてから、ポートフォリオの戦略テーマを編集できるようになりました。 詳細については、 戦略的調整情報のキャプチャー を参照してください。

ポートフォリオ内に下位ポートフォリオと提案を作成して追加する

下位ポートフォリオと提案を直接作成してポートフォリオに追加できます。これは、[バックログタブ](#)でのみ使用できます。

詳細については、[ポートフォリオバックログのポートフォリオコンテンツの管理](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

スタッフィングプロファイルから作業計画を同期する

スタッフィングプロファイルからプロジェクト作業計画を同期する場合、ポジションとしてスタッフィングプロファイルに同期されたタスクについて、それらのリソースとスケジュール作業データはポジションから同期されます。

詳細については、[スタッフィングプロファイルから作業計画を同期](#)を参照してください。

プロジェクトマネージャーがリソース割り当てを編集できるようにする

スタッフィングプロファイルのリソース割り当ての編集アクセス許可が追加されました。このアクセス許可を持つプロジェクトマネージャーは、リソースがリソースプールに属しているかどうかに関係なく、スタッフィングプロファイルのリソース割り当てを編集できます。

詳細については、[リソース計画用のスタッフィングプロファイルの使用](#)を参照してください。

タイムシートからのコストにも USE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSが適用される

PPMがタスクのロールまたはタスクのリソースのロールに基づいて作業計画の計画コストを計算するかどうかを制御する USE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSパラメーターは、タスクのタイムシートに対してログに記録された時間から計算されたコストにも適用されるようになりました。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

プロジェクト名が変更されたときに エクスポートされたPDFタイトルを 変更する	<p>プロジェクトまたはダッシュボードページをPDFにエクスポートするたびに、PPMはプロジェクトまたはページの名前を読み取り、その名前をPDFタイトルに反映します。</p> <p>PDFタイトルをプロジェクトまたはダッシュボードページ名とは異なるものに変更すると、PPMはそのタイトルをデータベースに保存し、保存されたタイトルを次のPDFエクスポートで使用します。</p> <p>詳細については、プロジェクトと作業のエクスポート計画を参照してください。</p>
タスクユーザーデータの監査証跡	<p>タスク監査証跡は、タスクユーザーデータの変更を追跡するようになりました。</p> <p>詳細については、追跡プロジェクト、作業計画、およびタスク監査証跡を参照してください。</p>
REST APIを使用して、タスクを マイルストーンとして設定する	<p>これで、REST APIを使用してタスクをマイルストーンとして設定できるようになりました。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>

デプロイメントの改善

PPMのアップグレードを容易にするために、9.61でいくつかのデプロイメントの改善を実装しました。

詳細については、[PPMデプロイメントの改善](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

次の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

特定のプールの [割り当ての管理] ページを [マイリンク] に追加する	<p>特定のリソースプールの [割り当ての管理] ページを表示していて、そのページを [マイリンク] に追加すると、ページリンクにリソースプールが記憶されません。次回マイリンクからページを開くときに、リソースプールを再度指定する必要はありません。</p>
---	---

STAFFING_PROFILE_REQUIRED_COLUMNSもポジションポップアップウィンドウで機能する

スタッフィングプロファイルの必須列を設定するために STAFFING_PROFILE_REQUIRED_COLUMNS

パラメーターを使用する場合、この列は、ポジションをインライン編集する場合と、ポジションポップアップウィンドウでポジションを編集する場合の両方で必要です。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

ダッシュボードページフィルター

- **dashboard.Page-Filters-Usage**サーバーパラメーターが削除されました。機能切り替えの[ビルダポートレット用のダッシュボードページフィルタ]を使用して、ダッシュボードページフィルターを有効または無効にできます。
- ダッシュボードページフィルターは、Javaポートレットからフィルターを除外します。

詳細については、[ダッシュボードページフィルターの使用](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

Shift +クリックは、「日 (日数)」入力モードを使用したタイムシートで機能する

日単位で時刻を入力する場合は、Shiftキーを押しながらクリックショートカットを使用して、セルの値をコピーして貼り付けることができます。

詳細については、[タイムシートのログ時間](#)を参照してください。

PPMチャットボットの機能拡張

PPMチャットボットがオートコンプリートリストフィールドの情報を要求するためにチャットする場合、完全な情報を入力する代わりに、キーワードを入力して、キーワードを含むオプションのリストから正確な情報を選択するだけです。

ヘルプセンター

ヘルプセンターのホームページを新しく更新しました。ご意見をお聞かせください。

電子メールを以下に送ってください: docteam@microfocus.com

廃止

次の項目は廃止になりました。

項目	詳細
dashboard.Page-Filters-Usage パラメーター	<p>このパラメーターは削除されました。PPM管理者は、機能切り替えの [ビルダポートレット用のダッシュボードページフィルタ] を使用して、ダッシュボードページフィルタの使用を有効にするかどうかを制御できます。</p> <p>詳細については、ダッシュボードページフィルタの使用を参照してください。</p>
SYNC_POSITIONS_FROM_WORKPLAN パラメーター	<p>このパラメーターは削除されました。PPM管理者は、機能切り替えの [タスクとポジション間の同期] をオンにして、プロジェクトマネージャーが作業計画タスクからポジションを同期できるようにすることができます。</p> <p>詳細については、作業計画タスクからのポジションの同期を参照してください。</p>

PPM 9.60の新機能

このセクションでは、PPM 9.60で導入または拡張された機能の概要を説明します。

PPM Enterprise Suiteコンカレントライセンス

PPM 9.60では、次の新しいライセンスタイプが導入されました。Enterprise Suiteコンカレントユーザー。このライセンスタイプを使用すると、潜在的なユーザーのグループ間でライセンスのプールを共有できるため、どの時点でも最大同時ライセンス数を超えないようにすることができます。

詳細については、[コンカレントライセンス](#)を参照してください。

PPM for Mobileの更新

PPM for Mobileエリアに以下のアップデートが追加されました。

PPM for Mobileの新しいアプリ: タイムシートを承認する	Approve Time SheetアプリがPPM for Mobileで利用できるようになりました。このアプリを使用して、タイムシートとタイムシートラインを表示および承認できます。 詳細については、 タイムシートの承認 を参照してください。
ドリルダウン先ポートレットを 表示できる	PPM for Mobileダッシュボードは、ドリルツールポートレットの表示をサポートしています。
タブレットをサポート	iPadやその他のタブレットでPPM for Mobileを使用できます。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

ポートフォリオバックログ

バックログタブがポートフォリオの詳細ページで利用できるようになりました。これにより、ポートフォリオのすべてのバックログアイテムを、それらが提供する価値の観点から表示できます。

見やすくするために、タブでは次のことができます。

- バックログアイテムのグループ化、フィルタリング、および並べ替え
- 個人的なお気に入りのビューの設定

詳細については、[ポートフォリオバックログの管理](#)を参照してください。

下位ポートフォリオのクリック可能なリンク

ポートフォリオの [コンテンツ] > [下位ポートフォリオ] タブにリストされている下位ポートフォリオがクリック可能になりました。リンクをクリックすると、下位ポートフォリオの詳細ページに移動します。

Micro Focus PPM Connector

Micro Focus Connect用のMicro Focus PPM Connect (Micro Focus PPM Connector) を使用すると、リクエストなどのPPMアセットを他のMicro Focus Connectorのアセット (たとえば、Micro Focus ConnectのJiraコネクターにあるアセット) と同期できます。

Micro Focus PPM Connectorの詳細については、次のリソースにアクセスしてください。

- Micro Focus PPM Connectorをダウンロードするには、
<https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/content/micro-focus-connect- connectors>に
アクセスしてください。
- Micro Focus PPM Connectorの設定方法を説明するreadmeをダウンロードするには、
<https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/content/micro-focus-connect- connectors>に
アクセスしてください。
- Micro Focus Connectのドキュメントについては、<https://admhelp.microfocus.com/connect>を
参照してください。

PPMチャットボット

PPMチャットボットが登場! Microsoft TeamsのPPMチャットボットとチャットすることで、プロジェクトのリスクを作成するなど、PPMを開かずにPPM関連のアクティビティを自動化できます。

これは、より重要な他の領域に割り当てることができる時間を節約するのに役立ちます。

PPMチャットボットのリソースについては、PPMマーケットプレイスにアクセスしてください:

<https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/category/all?product=Project-and- Portfolio- Management>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

ユーザーのグループごとに異なる ダッシュボードランディングページ を設定する

PPM管理者は、次のことができます。

- ユーザーのグループごとに異なるダッシュボードランディングページを設定する
- ユーザーが独自のランディングページを設定できるかどうかを制御する

詳細については、[ダッシュボードランディングページの設定](#)を参照してください。

HTML +ポートレットで複数のデータソースを使用する	<p>HTML +ポートレット定義を作成または編集するときに、データソースを追加できます。これにより、HTML +ポートレットは複数のデータソースからデータを取得できます。</p> <p>詳細については、ポートレットの定義の作成と保守および表示オプションのセットアップ -HTML +ポートレットを参照してください。</p>
HTMLおよびHTML +ポートレット定義用の改善されたテキストエディター	<p>改善されたテキストエディターを使用して、HTMLおよびHTML +ポートレット定義のコードを編集できるようになりました。</p>

機能の切り替えの機能拡張

機能の切り替えページが拡張され、機能をすばやく見つけることができるようになりました。

- [機能の切り替え] ページの機能は、時系列の逆順に表示されるようになりました。最新の機能が上部に表示されます。
- キーワードとフィルターで機能を検索できます。

詳細については、[機能の切り替えを使用した機能のオン/オフ](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

管理コンソールはクリックされたアイテムのみをロードする	<p>このバージョンより前では、管理コンソールを開くと、PPMはすべてのJSPページをロードします。このバージョン以降、PPMは、管理コンソールでクリックしたアイテムのページのみをロードします。</p>
PPMの使用状況を監視する	<p>システム管理者は、ユーザーのPPM使用状況データを監視して、PPMのどの部分が最も使用されているかを理解できます。この機能は、PPMデスクトップとPPM for Mobileの両方に適用されます。</p> <p>詳細については、PPM使用状況の監視を参照してください。</p>
ユーザー情報の更新に関する監査履歴	<p>PPMは、PPMユーザー情報へのすべての変更をITG_AUDIT_LOGSテーブルに記録するようになりました。</p>
menu.xmlのカスタマイズで、既存のメニュー項目のURLの変更がサポートされるようになった	<p>update_menu.xmlファイルをカスタマイズすることにより、既存のメニュー項目のURLを変更できます。</p> <p>詳細については、既存のメニュー項目を更新するを参照してください。</p>

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

名前または説明でマイアイテムと推奨項目を検索

新しいフィールド**項目名または説明が次の文字列を含む**が含まれている場合は、[タイムシートへの項目の追加]ウィンドウで使用できます。ファイルにキーワードを入力して、名前または説明にキーワードが含まれているアイテムを検索できます。

詳細については、[マイアイテムリストの使用](#)および[推奨項目リストの使用](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

次の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

リクエストを編集する権限を持つユーザーがプロジェクトリクエストフィールドのクイック編集を実行できるようにする

プロジェクトリクエストを編集する権限がある場合、プロジェクトを編集する権限がない場合でも、リクエストのクイック編集モードでリクエストフィールドを更新できるようになりました。

リソース管理の機能拡張

次の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

AALおよびARPポートレットのバーの上に合計を表示する

バーの合計が[リソースプールの分析]および[アサインの負荷の分析ポートレット]のどこに表示されるかを制御できます。バーの上部、またはバーのツールチップです。

注記: 合計の小数表示も変更しました。PPMは、1桁の合計の場合は小数点以下2桁、2桁の合計の場合は小数点以下1桁を保持し、3桁以上の合計の場合は小数点以下1桁を保持します。

詳細については、PPMページを開いてください。[管理コンソール](#) > [管理タスク](#) > [機能の切り替え](#)。

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

ksc_take_snapshotはプログラムで機能する

特殊コマンドksc_take_snapshotを使用して、プログラムワークフローから財務サマリーのスナップショットを取得できます。

廃止

次の項目は廃止になりました。

項目	詳細
モバイルユーザーがモバイルのダッシュボードランディングページを独自に設定できるようにする機能の切り替え	機能の切り替えが削除されました。PPM管理者は、[ダッシュボードランディングページの設定] ページで [モバイルユーザーがモバイルランディングページを設定できるようにする] オプションを使用して、ユーザーが独自のモバイルランディングページを設定できるかどうかを制御できます。 詳細については、 ダッシュボードランディングページの設定 を参照してください。

PPM 9.55の新機能

このセクションでは、PPM 9.55で導入または拡張された機能の概要を説明します。

PPM for Mobileの更新

次の更新がPPM for Mobileに追加されました。

モバイルダッシュボードのランディングページ	PPM for Mobileにダッシュボードランディングページが追加されました。 デフォルトでは、モバイルランディングページはPPMデスクトップランディングページと同じです。PPM管理者によって許可されている場合は、モバイルランディングページとして別のダッシュボードページを設定できます。 詳細については、 ダッシュボードランディングページの設定 を参照してください。
------------------------------	--

<p>モバイルWebクライアントに適用できるワークフローアクションをカスタマイズする</p>	<p>管理者は、特定のワークフローを使用するリクエストをモバイルWebクライアントにリストするかどうか、およびワークフローステップをモバイルWebクライアントで使用するかどうかを設定できます。</p> <p>モバイルユーザーは、モバイルWebクライアントで使用するよう設定されているワークフローステップでのみ操作できます。これにより、リクエストの承認の使いやすさと効率が向上します。</p> <p>詳細については、モバイルで使用されるワークフローステップの選択およびリクエストに応じて行動するを参照してください。</p>
<p>リクエストのメモを追加する</p>	<p>利害関係者間でアイデアを交換するためのリクエストのメモを追加できます。</p> <p>詳細については、メモの追加を参照してください。</p>
<p>リクエストは待機時間の降順で一覧表示される</p>	<p>リクエストの待機時間は、ワークフローステップが最後に変更されてからの時間です。待機時間が最も長いリクエストが一番上に表示されるようになりました。</p> <p>詳細については、モバイルで利用可能なリクエストを参照してください。</p>
<p>詳細情報を提供する先読み画面</p>	<p>リクエストに対して実行しているアクションで詳細情報の提供が必要な場合は、リクエストの「先読み」画面がポップアップして、入力する必要のある情報が一覧表示されます。</p> <p>詳細については、リクエストの検索を参照してください。</p>
<p>モバイルWebクライアントの新しいバージョンの新しい名前: PPM for Mobile</p>	<p>新しいバージョンのモバイルウェブクライアントを PPM for Mobile と呼びます。したがって、モバイルWebクライアントユーザーガイドの名前を PPM for Mobile ユーザーガイドに変更します。</p>

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

<p>財務サマリーコストを編集するときに新しいUIを使用する</p>	<p>PPMは、[コストの編集] ページに新しいUIを導入しました。新しいUIは、データの簡単な編集、並べ替え、グループ化、フィルタリングなど、より優れたユーザーエクスペリエンスを提供します。</p> <p>詳細については、コストのグループ化、フィルタリング、並べ替えおよびコストの編集ページでの制御列の表示を参照してください。</p>
---	--

過去の月の予測コストと実績コストのロック	<p>PPMを使用すると、ユーザーが過去の月のコスト(予測、実績、またはその両方)を編集できないようにすることができます。</p> <p>この機能は、[コストの編集]ページの新しいUIでのみ機能します。</p> <p>詳細については、予測と過去の月の実績コストのロックを参照してください。</p>
提案と資産の財務サマリー設定のデフォルト値を設定できる	<p>PPMは、管理コンソールに6つのパラメーターを導入して、新しい提案と資産の財務サマリー設定がデフォルトでチェックされるかどうかをそれぞれ制御します。</p> <p>パラメーターは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• ENABLE_PROPOSAL_SP_SYNCHRONIZED• ENABLE_PROPOSAL_TM_ACTUAL_SYNCHRONIZED• ENABLE_PROPOSAL_TRACK_CAPITAL_COST• ENABLE_ASSET_SP_SYNCHRONIZED• ENABLE_ASSET_TM_ACTUAL_SYNCHRONIZED• ENABLE_ASSET_TRACK_CAPITAL_COST <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>クローズされたタスクに対して時間を記録する際の制御と視覚化の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネージャー向けに新しいプロジェクト設定オプションが追加され、送信者が完了およびキャンセルされたタスクで実行できる時間を制御できるようになりました。 タイムシートページで、キャンセルおよび完了したタスクの視覚的な手がかりが改善されました。 <p>詳細については、時間管理設定およびタイムシートの明細の視覚的手がかりを参照してください。</p>
<p>作業計画のクイックビューに「拡張先」オプションを追加</p>	<p>作業計画クイックビューの [拡張先] オプションを使用して、作業計画を2から7までの指定されたレベルに展開または折りたたむことができるようになりました。</p> <p>詳細については、レベルの展開/折りたたみを参照してください。</p>
<p>コストヘルスインジケータ、計画コストウィジェット、およびコストタブを個別に表示または非表示にする</p>	<p>プロジェクト設定ページ>プロジェクトの概要のレイアウトポリシーで個別のオプションを使用して、コストヘルスインジケータ、計画コストウィジェット、および[コスト] タブを個別に表示または非表示にできるようになりました。</p> <p>詳細については、プロジェクトの概要のレイアウトポリシーを参照してください。</p>
<p>計画コストウィジェットとプロジェクトコストポートレットの時間範囲を選択する</p>	<p>PPMは、プロジェクト設定に新しいオプションを追加して、[計画コスト] ウィジェットと[プロジェクトコスト] ポートレットでどの期間のコストを計算するかを決定できるようにしました。プロジェクト計画期間、または財務サマリーの全期間です。</p> <p>詳細については、財務管理設定を参照してください。</p>
<p>プロジェクト設定で「アクティビティが必要」を表示/非表示</p>	<p>管理者は、次の機能の切り替えを使用できます。[プロジェクト設定のTMセクションに「アクティビティが必要」を表示]。これを使用して、プロジェクト設定ページの[アクティビティが必要] オプションを表示するかどうかを制御できます。</p> <p>詳細については、時間管理設定を参照してください。</p>

ダッシュボード

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

新しいダッシュボードポートレット タイプ: HTML +ポートレット	HTML、CSS、およびJavaScript言語を使用してダッシュボードデータソースからのデータを活用する「HTML +」ポートレットタイプ定義を作成できます。 詳細については、 標準ポートレット定義の作成 を参照してください。
改良されたピボットテーブル ポートレットを使用	PPMは、ピボットテーブルポートレットの改良版を導入しました。「改良されたピボットテーブルポートレットを使用」機能がオンになっている場合に使用されます。 改良されたバージョンは、データビューを最適化し、柔軟性を高めます。 注記: ピボットテーブルのポートレットをExcelにエクスポートし、データグループとHTML効果をExcelファイルに予約する場合は、ポートレットのリスト表示をExcelにエクスポートして、グループ形式とHTML効果をExcelファイルに再作成できます。
ポートレットタイトルを変更する 簡単な方法	ポートレットのタイトルを変更するには、ポートレットのタイトルをダブルクリックして、タイトルを編集します。 プライベートダッシュボードページのポートレットにのみ適用されます。
リストポートレットは、CLOB データ型の表示をサポート	リストポートレットは、特定の列に対して4,000文字を超えるデータの戻りをサポートするようになりました。PPMは、そのようなデータをclob結果として渡し、エンドユーザーに文字データとして正しく表示します。

デマンド管理

次の拡張機能がデマンド管理モジュールに追加されました。

すべての必須フィールドを入力せずに リクエストを保存する	リクエストが送信されたら、 後で使用するために保存 をクリックして、すべての必須フィールドに入力せずにリクエストを保存できます。 詳細については、 後で使用するためにリクエストを保存 を参照してください。
---	--

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

プログラムがコンテンツの合計予算よりも多くの予算をコンテンツから引き出すことができるかどうかを制御する

新しいオプションが**プログラムタイプ設定ページ > 財務管理**ポリシーに追加され、プログラムがコンテンツの合計予算を0未満に減らすために、コンテンツに負の予算額を設定します。

予算アラケーターには、利用可能な予算よりも多くの予算を引き出そうとするとプロンプトが表示されます。

詳細については、[予算作成戦略の選択](#)および[予算の割り当て](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

ポートフォリオ管理のランディングページとポートフォリオの詳細ページが刷新された

- ポートフォリオ管理のランディングページには、すべてのポートフォリオを一覧表示するための新しいタブ (すべてのポートフォリオ) が追加されています。[すべてのポートフォリオ] ページは、前の [ポートフォリオ階層の表示] ページに置き換わるものです。

- ポートフォリオ階層は、ポートフォリオ管理のすべてのページに表示されます。[すべてのポートフォリオ] ページ、[マイポートフォリオ] ページのテーブルビュー、およびポートフォリオの詳細ページの左側のペインです。

詳細については、[ポートフォリオ階層](#)を参照してください。

機能の切り替えの機能拡張

次の機能拡張が機能の切り替え領域に追加されました。

機能の切り替えの新しいステータス: 標準機能候補

PPMは、機能の切り替えに次の新しいステータスを導入しました。標準機能候補。

詳細については、[機能の切り替えを使用した機能のオン/オフ](#)を参照してください。

廃止

HIDE_COST_TAB_ON_PROJECT_PAGE

このパラメーターは、[プロジェクトの概要] ページの [コスト] タブの可用性を制御するために使用されていました。このリリース以降、廃止になりました。このパラメーターの設定は9.55へのアップグレード後に記憶され、プロジェクトマネージャーは[プロジェクト設定] ページの **[コスト タブを表示]** オプションを使用して、タブを表示するかどうかを制御できます。

詳細については、[プロジェクトの概要のレイアウトポリシー](#)を参照してください。

 参照:

- [「PPM 9.54の新機能」](#)
- [「PPM 9.53の新機能」](#)
- [「PPM 9.52の新機能」](#)
- [「PPM 9.51の新機能」](#)
- [「PPM 9.50の新機能」](#)

PPM 9.54の新機能

このセクションでは、PPM 9.54で導入または拡張された機能の概要を説明します。

チーム管理の更新

チーム管理は、監視チームにより良い視覚化を提供します。

チームのキャパシティとコストチャート

チームの**概要**タブを追加しました。これは、チームのキャパシティ (リソースの数)、チームのランニングコスト、チームの請求可能なコスト、および指定された期間のランニングコストと請求可能なコストを示す棒グラフを提供します。

詳細については、[チームの概要チャート](#)を参照してください。

チームヒートマップ

チームヒートマップタブを追加します。それはあなたのチーム/リソース計画のどこにギャップがあるかについての洞察を与えます。

- チーム/リソース、プロジェクト、およびロールの観点から、キャパシティ、デマンド、割り当て、およびそれらから派生したデータ (稼働率や達成率など) を確認するための包括的なビューを提供します。
- 稼働率と達成率を定義された色で視覚化します。
- チームマネージャーは、クリックするだけでデータを表示または非表示にする柔軟性が得られます。

詳細については、[チームヒートマップ](#)を参照してください。

リソースプールを作成すると、チームが自動的に作成される

新しいリソースプールを作成すると、同じ名前のチームを自動的に作成できます。

詳細については、[リソースプールの作成](#)を参照してください。

PPM Mobileの新しいUI

PPM Mobile Webクライアントには新しいUIがあります。アプリのようなルックアンドフィールを提供し、構成可能なモバイルランディングページを提供し、人間工学的にユーザーエクスペリエンスを向上させます。

詳細については、[概要](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

PPMメニューをカスタマイズする新しい方法

PPMは、PPMメニューをカスタマイズする新しい方法を導入します。エンドユーザーがPPMメニューに導入された新機能を見逃さないようにし、PPMメニューにどのような変更が加えられたかを明示します。

詳細については、[メニュー項目のカスタマイズ \(推奨\)](#)を参照してください。

管理コンソールからPPMサーバーをシャットダウン/再起動する	PPM管理者は、[管理コンソール] > [システムヘルス] > [ノード] ページから、PPMノードまたはPPMクラスター全体をシャットダウンまたは再起動できます。 詳細については、 管理コンソールからPPMをシャットダウンして再起動する を参照してください。
新しいREST APIを追加する	PPMは、次のアクション用のREST APIを導入しています。 <ul style="list-style-type: none">• PPMキャッシュをフラッシュする• PPMサーバーをシャットダウンして再起動する 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。

エンタープライズアジャイルアップデート

JIRA-PPMリクエスト統合は、より多くのフィールドタイプマッピングをサポート

JIRA-PPMリクエスト統合により、2つのサイド間でより多くのタイプのフィールドのデータ同期がサポートされるようになりました。

詳細については、[サポートされているPPM-JIRAフィールドタイプのマッピング](#)を参照してください。

機能の切り替えの機能拡張

PPMは、管理コンソール > 機能の切り替えで機能の成熟度のステータスをラベル付けして示します。

詳細については、[機能の切り替えを使用した機能のオン/オフ](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

チャートビューにビジネスゴールの詳細を表示する

ポートフォリオの [戦略] タブ > [ビジネスゴール] セクションで、ビジネスゴールのタイトルをクリックしたときに、チャートビューにビジネスゴールを表示すると、ページの右側にビジネスゴールの詳細が表示されます。

詳細については、[ビジネスゴールのパフォーマンスの追跡](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

what-ifシナリオページで保存されていない変更をすべて破棄	what-ifシナリオページの 変更の破棄 ボタンをクリックして、行ったが保存されていないすべての変更をキャンセルします。
KPI予測でKPIタイプを表示する	KPI予測チャートは、KPI値のコンテキストを提供するためにY軸にKPIタイプを示します。 詳細については、 KPI予測 を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

ダッシュボードモジュールには、次の機能拡張が追加されています。

ビルダーリストポートレットの複数列の並べ替えをサポート	9.53では、プロジェクトリストポートレット、リクエストリストポートレット、およびリソースプールリストポートレットの複数列の並べ替えがサポートされています。 9.54では、サポートはビルダーリストポートレットに拡張されています。
レポートデータベースに対してポートレットデータソースクエリを実行	ポートレットデータソースを作成または更新するときに、レポートデータベースに対してポートレットデータソースクエリを実行するかどうかを決定できます。 詳細については、 レポートDBの使用 を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストの詳細の最初の編集可能なフィールドにオートフォーカスを設定

リクエストの編集を容易にするために、PPMは[リクエストの詳細]ページの最初の編集可能なフィールドにカーソルを自動的にフォーカスします。

PPM管理者は、FOCUS_ON_FIRST_EDITABLE_FIELD_IN_REQUEST_DETAILSパラメータを使用してオートフォーカスを無効にできます。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

[リクエスト検索結果] ページのリンクとして、スタッフィングプロファイルと財務サマリーを提示する

提案、プロジェクト、および資産リクエストの高度な検索で [スタッフィングプロファイル] 列と [財務サマリ] 列を表示することを選択した場合、両方の列がプレーンテキストではなくリンクとして表示されます。

プログラム管理の機能拡張

プログラム管理モジュールに次の機能拡張が追加されました。

「プログラム名が次の文字列を含む:」でプログラムを検索する

プログラムの検索ページで、「**プログラム名 (前方一致)**」フィルターは「**プログラム名が次の文字列を含む**」フィルターに置き換えられました。

そのため、プログラムを検索するには、プログラム名で始まるキーワードの代わりに、「@」の後にプログラム名に含まれるキーワードを入力することもできます。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

特定の期間内に作成または更新されたリソースを検索する

[リソースの検索] ページで、**作成日**および**最終更新日**フィルターを使用して、指定された期間内に作成または更新されたリソースを検索します。

<p>過去の未処理のリソースリクエストを非表示にする</p>	<p>リソースプールページの過去の未処理のリソースリクエストを非表示にするオプションをクリックして、デマンド終了日が現在の日付より前のポジションからリソースリクエストを非表示にします。</p> <p>詳細については、リソースリクエストの収集を参照してください。</p>
<p>スタッフィングプロファイルのポジションとロールの列をオートフィルする</p>	<p>ポジションの [必要な特定リソース] 列に入力すると、[ポジション] 列と [ロール] 列にリソースのロールが自動的に入力されます。</p> <p>詳細については、要求された特定のリソースを参照してください。</p>
<p>リソースプールリストポートレットに有効なリソースプールのみを表示する</p>	<p>ポートレット参照で有効なリソースプールのみフィルターを選択して、リソースプールリストポートレットで有効なリソースプールのみを表示します。</p>

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

<p>リソースの開始日より前の日付の時刻を入力しないようにする</p>	<p>PPM 管理者がパラメーター <code>DISABLE_DATES_BEFORE_RESOURCE_START_DATE_IN_TS</code>をtrueに設定した場合、時間の送信者は開始日より前の日付に時間を記録できません。</p> <p>詳細については、作業項目の時間の入力を参照してください。</p>
<p>マイアイテムと推奨項目にプロジェクトとプログラムのリクエストIDを追加</p>	<p>タイムシートのマイアイテムと推奨項目にプロジェクトとプログラムが出現するたびに、リクエストIDの後にプロジェクト名とプログラム名が続きます。</p>
<p>独自の委任を設定する</p>	<p>PPM管理者がパラメーター <code>ENABLE_ADD_DELEGATE_FOR_ONESSELF</code>をtrueに設定した場合、[すべてのリソースの編集] アクセス許可があるかどうかに関係なく、自分で委任を設定できます。</p> <p>詳細については、リソースの委任の設定を参照してください。</p>

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

財務データテーブルのページタイトルに親エンティティ情報を追加

提案とプロジェクトの財務データテーブルのページ上部に、親エンティティの名前が含まれるようになりました。

ヘルプセンターの改善

PPMヘルプセンターは、[Get Started: はじめに] メニューの下に新しいトピック「What's Changed: 変更点」を追加しました。以前のバージョンとは異なる領域を強調しています。これらの領域は、アップグレードする前に確認が必要です。

詳細については、[PPM 9.54の変更点](#)を参照してください。

プロジェクト参加者とのチャットを開始

プロジェクトマネージャーや作成者などのユーザーフィールドには、フィールドで指定されたユーザーの横にインスタントメッセージアイコンを追加できます。アイコンをクリックすると、チャットウィンドウでユーザーとの会話を開始できます。

インスタントメッセージアイコンは、PPM管理者が「ユーザーフィールドのインスタントメッセージアイコンを表示する」機能をオンにした場合にのみ表示されます。アイコンは、リクエストの詳細ページ、プロジェクトの概要ページ、およびダッシュボードの読み取り専用および単一値のユーザーフィールドで使用できます。

 参照:

- [「PPM 9.53の新機能」](#)
- [「PPM 9.52の新機能」](#)
- [「PPM 9.51の新機能」](#)
- [「PPM 9.50の新機能」](#)

PPM 9.53の新機能

このセクションでは、PPM 9.53で導入または拡張された機能の概要を説明します。

チーム管理の更新

PPM 9.53では、チーム管理を次のように機能拡張しました。これらは、[スタッフィングプロファイル内のチーム管理とチーム割り当て] が有効になっている場合にのみ使用できます。

チームをセットアップする際の柔軟性を高める

- リソースプールからチームを作成する
- チームタイプとチームの専門分野を定義する
- チームのキャパシティを管理する

詳細については、[チームのセットアップ](#)を参照してください。

チームコストルールによって計算されたチームコストを表示する

- チームのコストルールを管理する
- チームコストルールによるチームアサインコストを計算する

詳細については、[スタッフィングプロファイルからの予測人件費の表示](#)を参照してください。

チームモニタリングの使いやすさの向上

- 戦略テーマの色でチームのアサインパイプラインを強調する
- イニシアチブの詳細に簡単にドリルダウン
- チームのアサインをフィルタリングする

詳細については、[チームの監視](#)を参照してください。

機能管理

管理者が機能を有効または無効にするための機能管理プラットフォームと、そのサブ機能がある場合はそのサブ機能を紹介します。

管理コンソール > 管理タスク > 機能管理からアクセスできます。

スタッフィングプロファイルからの予測人件費の表示

イニシアチブマネージャーは、スタッフィングプロファイルの**コスト**ビュー内から予測される人件費の詳細を直接確認できます。

これにより、デマンドとアサインを計画し、1か所で同時にコストを表示できます。

詳細については、[スタッフィングプロファイルからの予測人件費の表示](#)を参照してください。

エンタープライズアジャイルアップデート

外部タスクに時間を記録する

ハイブリッドプロジェクトにより、時間管理がタスクまたはサマリータスクレベルで実績を追跡できるようになると、タスク所有者として、外部タスクをタイムシートに直接追加して、アジャイル作業をログに記録できます。

詳細については、[タイムシートでの作業項目の管理](#)を参照してください。

PPMで外部タスクの実績データを制御する

外部タスクのロギング時間の結果として、外部タスクの実績データはPPMで制御されます。外部作業計画同期サービスは、外部タスクのスケジュールされた情報をアジャイルからPPMにインポートし、PM-TM同期サービスは外部タスクの実際の情報をタイムシートデータで更新します。

詳細については、[アジャイルデータのPPMへの同期](#)を参照してください。

外部タスクのコストを資産計上する

[アクティビティ]列は、外部タスク用に編集可能になります。プロジェクトマネージャーとして、外部タスクのコストを資産計上したい場合は、資産計上されたアクティビティを外部タスクに関連付けることができます。

ダッシュボードの機能拡張

ポートレットデータを複数の列で並べ替える

ポートレットは、主に最後にクリックされた列、最後に1つだけの列、というように並べ替えられ、最後にポートレット設定の [並べ替え] オプションの設定によって並べ替えられます。

注記: この拡張機能は、現在、リクエストリストポートレット、プロジェクトリストポートレット、およびリソースプールリストポートレットでのみ使用できます。

デマンド管理の機能拡張

特定の期間内に作成または更新されたリクエストをフィルタリングする
[リクエストの検索] ページから、フィルター **[作成日が次の期間以内:]** または **[最終更新日が次の期間以内:]** を使用して特定の期間内に作成または更新されたリクエストをフィルタリングできます。

ドキュメント管理の機能拡張

[参照] セクションの添付ファイルを特定の列で並べ替える

パラメーター ATTACHMENT_SORT_COLUMN を使用して、[参照] セクションの添付ファイルを昇順で並べ替える列を指定できます。

詳細については、[サーバーパラメーター](#) を参照してください。

財務管理の機能拡張

機能拡張	詳細
チームに固有のコスト要因を追加する	チーム管理とチームアサインメントに反響して、PPMはチームに固有のコスト要因を追加してチームコストを計算します。 これらの要因は、チーム、チームタイプ、およびチームの専門分野です。
コストルールの検索結果のリソースのツールチップとしてユーザー名を追加する	同じフルネームのリソースを指定するコストルールを区別しやすくするために、PPMは、コストルールの検索結果でリソースのツールチップとしてユーザー名を提供します。
コストとベネフィットを編集するときに、現地通貨と基本通貨を切り替える	エンティティの現地通貨がシステムの基本通貨と異なる場合は、コストとベネフィットを編集するときに現地通貨と基本通貨を切り替えることができます。

**財務サマリー関連ページを編集するとき
に財務サマリーをロックする**

- 財務サマリーで予測または実績のコストまたはベネフィットを編集すると、他のユーザーまたはバックグラウンドサービスが変更を行わないように、コストとベネフィットがロックされます。

詳細については、[財務サマリーのコスト/ベネフィットのロック](#)を参照してください。

- 提案または資産の財務サマリー設定を編集する場合、設定への変更を正常に保存するまで、財務サマリーはロックされます。

プラットフォームの機能拡張

単一言語オプティマイザーを実行して、システムのパフォーマンスを向上
英語のみを使用し、環境に言語パックをデプロイしない場合は、単一言語オプティマイザーを実
行して、システムから不要なロジックを取り除き、パフォーマンスを向上させることができます。

詳細については、[kSingleLanOptimize.sh](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

機能拡張	詳細
ポートフォリオ内のイニシアチブの 上限を定義する	パラメーターPORTFOLIO_MAX_PPA_INITIATIVESを使用して、ポートフォリオに含めることができるイニシアチブ (提案、プロジェクト、資産) の最大数を定義できます。 デフォルト値は1000です。 注記: デフォルト値を増やす場合は、パフォーマンスに影響を与える可能性があるため、注意が必要です。
what-if分析に戦略調整円グラフを 追加する	戦略テーマごとの予測コストと戦略テーマごとのリソースデマンドの円グラフは、what-if分析に追加されます。 詳細については、 戦略的調整 を参照してください。

<p>戦略テーマの色を設定する</p>	<p>ポートフォリオ戦略テーマの色を選択できます。</p> <p>戦略テーマが使用される場合は常に、その色が使用されます。</p>
<p>1つのビジネスゴールを1つの戦略テーマに合わせる</p>	<p>1つのビジネスゴールを1つの戦略テーマに合わせると、戦略テーマごとにビジネスゴールをグループ化できます。</p> <p>詳細については、ビジネスゴールの追加およびPPMの相対KPIの選択を参照してください。</p>
<p>what-if分析でKPI予測チャートを改善する</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネスゴールの目標値と目標日を表示します。 • ツールチップを改善します。 • 負のKPIインパクトの値のレイアウトを改善します。 • 凡例の色をクリックして、グラフのイニシアチブを切り替えます。 <p>詳細については、KPI予測を参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

プログラム概要ページのプログラムタイトルにプログラムタイプ名を表示する

[プログラム設定] > [プログラムの概要のレイアウト] で、オプション [プログラムタイプ名をプログラムの概要] ページのタイトルとして使用する] を選択した場合、プログラムタイトルは `<Program_type_name>. <Program_name>` として表示されます。

詳細については、[プログラムの概要のレイアウトポリシー](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

機能拡張	詳細
<p>スケジュール開始日には、プロジェクトが計画ステータスにある場合、デフォルトでプロジェクトの開始日が表示されます</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトが計画ステータスの場合、[作業計画のスケジュール] ウィンドウの [スケジュール開始日] フィールドに、プロジェクトの計画開始期間の初日が表示されます。 • プロジェクトがアクティブな状態の場合、スケジュール開始日 フィールドには、最後のスケジュールで設定された日付が表示されます。

実際の作業を追跡するためのタイムシートを持つタスクに必要なアクティビティを作成する	コストを活用するためにアクティビティが常に定義されていることを確認するために、実際の作業を追跡するタイムシートを持つタスクに必要なアクティビティフィールドを作成するようにプロジェクトを構成できます。 詳細については、 時間管理設定 を参照してください。
作業計画のデフォルト列の指定は、タスクのユーザーデータをサポート	パラメーターWORK_PLAN_DEFAULT_COLUMNSは、作業計画を初めて表示または作成するときにデフォルトの列を指定するために使用されます。これで、このパラメーターを使用して、ユーザーデータトークン値を追加することにより、デフォルトのタスクユーザーデータフィールドを指定することもできます。 詳細については、 サーバーパラメーター を参照してください。

時間管理の機能拡張

すべてのタイムシートを表示および編集するための新しいアクセス許可の追加

- **すべてのタイムシートを編集**権限を使用すると、システム内の任意のタイムシートを表示および編集できます。それはあなたがすべての時間の提出者の代表としてアサインされることからあなたを解放します。
- **すべてのタイムシートを表示**権限により、システム内の任意のタイムシートを表示できます。これにより、すべてのタイムシートの時間の承認者または請求書の承認者としてアサインされる必要がなくなります。

 参照:

- [「PPM 9.52の新機能」](#)
- [「PPM 9.51の新機能」](#)
- [「PPM 9.50の新機能」](#)

PPM 9.52の新機能

このセクションでは、PPM 9.52で導入または拡張された機能の概要を説明します。

チーム管理

アジャイル開発の実践では、作業は通常、1人ではなくアジャイルチームにアサインされます。次に、チームリーダーは、チームメンバーにタスクを分散します。PPM 9.52では、要件を満たすためにチーム管理が導入されています。

チーム管理を使用すると、チームマネージャーとして次のことができます。

チームを作成する	チームを作成すると、同じ名前の対応するリソースプールが自動的に作成されます。
チームにサブチームとリソースを追加する	チームには、チーム階層を構築するサブチームとリソースを含めることができます。
チームをスタッフィングプロファイルのポジションにアサインする	チームにポジションをアサインし、そのアサインをそのサブチームとリソースにカスケードすることができます。
チームの稼働率の詳細を表示する	<p>チームの詳細ページから、次のことがわかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • チーム、その直接のサブチーム、およびその直接のリソースがアサインされる時期と場所。 • チーム、その直接のサブチーム、およびその直接のリソースにどれだけの労力がアサインされているか。 • チーム、その直接のサブチーム、および特定の月または指定された期間の直接のリソースの稼働率 (アサインされた作業/キャパシティ)。

詳細については、[チーム管理](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

プロジェクト管理は、より良いプロジェクト計画のために主に作業計画で機能拡張されています。

機能拡張	詳細
Excelから作業計画をアップロードする	<p>パラメーターENABLE_IMPORT_EXPORT_EXCEL_IN_WORK_PLANがtrueに設定されている場合、作業計画をMicrosoft ExcelからPPMにアップロードできます。</p> <p>この機能は、作業計画のクイックビューでのみ使用できます。</p> <p>詳細については、Microsoft Excelからの作業計画のアップロードを参照してください。</p>
作業計画のクイックビューでアクティビティを追加および編集する	作業計画のクイックビューに [アクティビティ] 列を追加し、列をインライン編集することができます。

<p>作業計画のデフォルトのビューと列を設定する</p>	<p>以前は、作業計画を初めて作成または表示するときに、作業計画はデフォルトでクイックビューで開かれていました。</p> <p>PPMは、作業計画を初めて作成または表示するときに、作業計画のデフォルトビューとそのビューのデフォルト列を指定するための2つのパラメーターを追加するようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WORK_PLAN_DEFAULT_VIEW: 作業計画を初めて作成または表示するときのデフォルトの作業計画ビューを指定します。 • WORK_PLAN_DEFAULT_COLUMNS: 作業計画を初めて作成または表示するときに、WORK_PLAN_DEFAULT_VIEWパラメーターで定義されたビューのデフォルトの列を指定します。 <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>サマリータスク用に [作業達成率 (%)] 列を追加</p>	<p>PPMは、作業計画クイックビューのサマリータスク用に [作業達成率 (%)] 列を追加します。</p> <p>タスク期間で重み付けされたリーフタスクの達成率に基づいてサマリータスクの進捗状況を計算する既存の [達成率 (%)] 列とは異なり、[作業達成率 (%)] 列はリーフタスクの工数に基づいてサマリータスクの進捗状況を計算します。</p>
<p>テンプレートのどのタスクを新しい作業計画にインポートするかを選択する</p>	<p>パラメーターENABLE_WORKPLAN_TAILOR_FROM_WORKPLAN_TEMPLATEがtrueに設定されている場合、テンプレートから作業計画を作成するときにテンプレート内のタスクが作業計画にインポートされます。</p> <p>詳細については、作業計画の作成を参照してください。</p>
<p>プロジェクトをExcelにエクスポートする</p>	<p>Excelにエクスポートアイコンがプロジェクトページの右上隅に表示されるようになりました。</p> <p>クリックすると、プロジェクトヘッダー情報、マイルストーン、問題、リスク、およびスコープの変更がエクスポートされます。</p>

<p>作業計画のベースラインの詳細を表示する</p>	<p>以前は、作業計画ベースラインを作成するときに、ベースラインリンクをクリックすると、[ベースラインプロパティの変更]ウィンドウが開きます。</p> <p>次に、リンクをクリックすると、作業計画のベースラインの詳細ページが開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表示ビューを変更できます。 • 列を追加できます。 • すべての編集ボタンが無効になります。 • すべてのタスクは編集できません。 <p>詳細については、作業計画ベースラインの作成を参照してください。</p>
----------------------------	---

リソース管理の機能拡張

機能拡張	詳細
<p>リソースの検索フィルターの「<空白>」値を追加</p>	<p>[リソースの検索] ページで、値 "<空白>"が以下のフィルターに追加されます: ロール、部署、スキル、マネージャー、組織単位、場所、セキュリティグループ、時間の承認者、請求書の承認者、タイトル、リソースプール、およびコストカテゴリ。</p> <p>「空白」の値は、対応する属性を定義しないリソースをフィルタリングします。</p>
<p>[予測デマンドの表示] ページに [完了] ボタンを追加</p>	<p>[完了] ボタンが [リソースプール] > [予測デマンド] ページに追加されました。</p>
<p>過去にリソースが割り当てられただけのリソースプールを無視する</p>	<p>ポジションのリクエストされたリソースとしてリソースを追加すると、PPMはリソースの詳細に基づいてポジションの属性を自動的に入力します。リソースが異なる期間に異なるリソースプールに割り当てられている場合、PPMは、これらすべてのリソースプールを一覧表示して、ポジションに1つを選択できるようにします。</p> <p>ここで、パラメーター IGNORE_POOLS_WITH_ONLY_PAST_RESOURCE_PARTICIPATIONがtrueに設定されている場合、PPMは、将来リソースが割り当てられるリソースプールのみを一覧表示します。</p>
<p>[リソース負荷内訳 - アサイン詳細] ページのスタッフィングプロファイルのツールチップが利用可能</p>	<p>「リソース負荷内訳 - アサイン詳細」 ページのスタッフィングプロファイルのツールチップには、スタッフィングプロファイルのフルネームが表示されます。</p>

<p>アクセス権限に基づいてユーザー情報を変更するためのリンクを提示</p>	<ul style="list-style-type: none">• PPM Workbenchを開く権限がない場合、リソースの変更 > 全般ページにある [このリソースのユーザ情報の変更 (Workbench)] リンクは表示されません。• ユーザー管理コンソールを開くことができる場合は、リンク [このリソースのユーザ情報の変更 (ユーザ管理コンソール)] は、リソースの変更 > 全般ページで利用可能です。このリンクをクリックすると、ユーザー管理コンソールのリソース詳細ページに移動します。
<p>プロジェクト管理ライセンスを持つ非プロジェクトマネージャーがスタッフィングプロファイルのポジションにリソースをアサインする</p>	<p>リソースマネージャーの場合、次の要件が満たされている限り、スタッフィングプロファイルのリソースを、リソースプールの属性が設定されているポジションにアサインできます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 「リクエストされていない読み取り専用ポジションにリソースを割り当て」権限を持ち、プロジェクト管理ライセンスがある。• スタッフィングプロファイルを表示できる。 <p>つまり:</p> <ul style="list-style-type: none">• プロジェクトマネージャーがリソースをアサインするためにリソースプールからリソースをリクエストするまで待つ必要はありません。• スタッフィングプロファイルを編集できない場合でも、スタッフィングプロファイルでリソースをアサインできます。

時間管理の機能拡張

プロジェクト番号でプロジェクトをタイムシートに追加

タイムシートにプロジェクトを追加するときに、プロジェクト番号でプロジェクトを検索できます。

タイムシートへのマイルストーンの追加を制限する

パラメーターALLOW_LOG_TIME_ON_MILESTONESがfalseに設定されている場合、時間の送信者はタイムシートにマイルストーンタスクを追加できません。

このパラメーターは、時間の送信者がタイムシートまたはマイアイテムに新しいマイルストーンを追加できないようにするだけです。推奨項目にある、またはパラメーターを無効にする前にすでにマイアイテムに追加されているマイルストーンタスクの場合、時間の送信者は引き続きそれぞれに時間を記録できます。

プラットフォームの機能拡張

Web UIからリスト検証値を編集する

Excelの[リストの検証値の編集] ページから、リスト検証をExcelとしてダウンロードし、Excelでリスト検証を編集し、ExcelをPPMにアップロードして次の操作を実行できます。

- リスト検証値を編集します。
- リスト検証値の翻訳を追加します。
- リスト検証値の既存の翻訳を更新します。

ページにアクセスするには、構成ライセンスと検証値の編集権限が必要です。

詳細については、[Web UIからのリスト検証値の編集](#)を参照してください。

安全なファイルアップロードメカニズム

PPM 9.52以降、パラメーターDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTを使用して、PPMにアップロードできるファイルの種類を明示的に指定する必要があります。そうしないと、PPMは、指定しないファイルに潜在的なセキュリティリスクがあると見なし、アップロードを禁止します。

このパラメーターのデフォルト値は次のとおりです:

txt、doc、docx、gif、pdf、png、ppt、pptx、pps、ppsx、psd、wav、wmv、xls、xlsx、ico、jpeg、jpg、m4a、mov、mp3、mp4、m4v、mpg、odt、ogg、ogv、3g2、3gp、avi

タイムシートで長い検索を行う場合は、「進行中」のインジケータを表示する

タイムシートに追加する作業項目の検索に時間がかかる場合、アクティビティを示す「進行中」のアニメーションが表示されます。

AWSサポート

本番環境のAWSでのPPMのインストールと実行をサポートします。

統合の機能拡張

PPM-Octaneリクエストの統合は、より多くのフィールドタイプと値のマッピングをサポートする

- PPMでは、ドロップダウンリスト、オートコンプリートリスト、およびテキスト領域のタイプのフィールドがサポートされています。同様に、参照およびメモのタイプのフィールドはALM Octaneでサポートされています。
- フィールドマッピングの両方のフィールドが値のリストである場合、値のマッピングが有効になります。

詳細については、[PPM内からのALM Octaneエンティティの管理](#)を参照してください。

PPM-Octaneタイムシート統合はALM OctaneへのSSOアクセスをサポートします

OctaneからPPMタイムシートに時間をインポートする場合、PPMはALM OctaneへのSSOアクセスをサポートします。

What-if分析の機能拡張

what-if分析でポートフォリオ戦略データを確認する

ポートフォリオのシナリオでは、[戦略] タブに、ポートフォリオのビジネスゴールに関連付けられているすべてのKPIのグラフが表示されます。すべてのKPIチャートには、スコープ内の各ポートフォリオコンテンツの実際のKPI値とKPIインパクト（つまり、予測されたKPI値）が表示されます。

詳細については、[戦略的計画](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

未使用のデータを削除する

kAdditionalPurgeTool.shを実行して、使用されていない次のデータをパージできます。

- リクエストまたはパッケージで使用されていないワークフロー。
- ワークフローステップで使用されていないステップソース。
- 未使用の検証。
- リクエストタイプまたはワークフローによって参照または使用されていないセキュリティグループ。
- リクエストタイプまたはワークフローで参照または使用されていないリクエストステータス。

詳細については、[kAdditionalPurgeTool.sh](#)を参照してください。

リクエストタイプごとのユーザーごとのテーブルコンポーネントフィールドの列幅の記録を保持

リクエストのテーブルコンポーネントフィールドの列幅のサイズを変更すると、次に同じリクエストタイプのリクエストを開いたときに、列幅が残ります。

PPMは、リクエストタイプごとのユーザーごとのテーブルコンポーネントフィールドの列幅の記録を保持します。

テーブルコンポーネントフィールドのメモ履歴には、すべての変更が含まれます

新しい行の追加、行の削除、行セルの変更など、テーブルコンポーネントのフィールドの変更はすべて、リクエストノートに記録されます。

詳細については、[\[リクエスト詳細\] ページ: メモセクション](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

財務サマリースナップショットの行の順序は、コストカテゴリが同じである場合の財務サマリーの行の順序と同じです。

ダッシュボードの機能拡張

積み上げ面グラフのポートレットをサポート

ダッシュボードポートレットの折れ線グラフのサブタイプとして、新しいグラフタイプ (積み上げ面グラフ) をサポートしています。既存の折れ線グラフを積み上げ面グラフとして表示し、積み上げ面グラフポートレットを作成できます。

積み上げ面グラフポートレットの作成の詳細については、[積み上げ面グラフポートレット](#)を参照してください。

チャートポートレット項目を強調表示する

チャートポートレット項目の上にマウスを置くと、そのアイテムが強調表示されます。

リストポートレットの「詳細」アイコンから「Excelにエクスポート」アイコンを離す

リストポートレットをExcelにエクスポートするには、ポートレットヘッダーの[Excelにエクスポート]アイコンを直接クリックします。[詳細] > [Excelにエクスポート]アイコンをクリックする必要はありません。

APMの機能拡張

APMメニューをPPMにマージ

APMメニューはPPMにマージされます。PPMにAPMを使用するには、パラメーターAPM_ENABLEDをtrueに設定し、APMバンドルを展開する必要があります。次の場合は、APMバンドルをデプロイする必要はありません。

- 以前にAPMバンドルをインストールしたことがある。
- 既存のバンドルと新しいバンドルの間でデータベース化に違いがない。

注記: APM for PPM 9.52がデータベースに変更を加えたため、バンドルを展開する必要があります。

MLU

9.42から9.52に追加されたラベルにアラビア語の翻訳が補足されました。

 参照:

- [「PPM 9.51の新機能」](#)
- [「PPM 9.50の新機能」](#)

PPM 9.51の新機能

このセクションでは、PPM 9.51で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートレットの機能拡張

ポートレットのユーザーエクスペリエンスが見直されました。

- デフォルトでは、主要な凡例のみが表示されるようになりました。凡例のカテゴリを多くも少なくも表示できます。
- ポートレットは、画面サイズに合わせて自動的にサイズ変更されます。
- プレビューページがすべての印刷操作で表示されるようになりました。

これらの変更は、バブルチャートとガントチャートを除くすべてのチャートタイプに適用されます。

OpenJDK for Workbenchのサポート

WindowsクライアントでOpenJDKをサポートするために、「Workbenchアプリ」を開発しました。Workbenchアプリは、コンピューターにインストールする必要があるデスクトップアプリケーションです。アプリは、PPM Webページまたはインストールフォルダーから開くことができます。

Workbenchアプリケーションをインストールするには:

1. [開く] > [管理] > [Workbench] > [Workbenchアプリを開く] を選択します。
2. このページで、ダウンロードリンクをクリックし、Workbenchバンドルをコンピューターに保存します。
3. ダウンロードしたzipファイルを解凍します。
4. install.batをダブルクリックしてWorkbenchを登録します。

インストールされたフォルダーからWorkbenchアプリケーションを開くには:

1. Startup.batをダブルクリックします。
2. PPM URLとユーザー資格情報を入力します。

PPM WebページからWorkbenchアプリケーションを開くには:

1. [開く] > [管理] > [Workbench] > [Workbenchアプリを開く] を選択します。
2. ブラウザーのプロンプトを受け入れて、次回Workbenchをスムーズに開きます。

注記: SSOが有効になっている場合は、WorkbenchのURLをSSOの保護から除外します。

`http://<PPM_Base_URL>/itg/wbservices`

OIDC SSO

OIDC認証コードフローと暗黙的フローがサポートされています。

OIDCの詳細については、OpenID Webサイトを参照してください。

PPMを使用してOIDC SSOを設定するには:

1. パラメーターを使用して、OpenIDプロバイダー (OP) のリレーパーティ (RP) としてPPMを登録します。

コールバックURI: <PPM_BASE_URL>/itg/web/sso/oidc_callback.jsp

ログアウト後のURI: <PPM_BASE_URL>/itg/web/sso/loggedout.jsp

oAuthクライアントキーとoAuthクライアントシークレットを覚えておいてください

2. PPM server.confファイルを次のように編集します。

以下を追加または変更

```
com.kintana.core.server.SINGLE_SIGN_ON_
PLUGIN=com.kintana.sc.security.auth.OIDCSingleSignOn
```

3. <PPM_HOME>/integration/sso/oidc_sso.confを編集します。

a. `discovery_file` =<OPメタデータファイルへのパス>または`discovery_uri` =<OPメタデータファイルのURI>を追加します

b. `client_id` =<OAuth Client Key for PPM>を追加します

c. PPMがOPに直接アクセスできない場合は、`proxy=<proxy_dns or proxy_ip>:<proxy_port>` プロキシを構成します。

d. OPがhttpsに自己署名証明書を使用する場合は、`disable_ssl=true`を追加します。

このオプションは、開発環境またはテスト環境でのみ使用してください。実稼働環境では絶対に使用しないでください。

4. PPMユーザーインスタンスを再起動します。

トラブルシューティング

- SSOのトラブルシューティングを行うには、<ppm_server>/log/serverLog.txtファイルを確認してください。

- デバッグ情報の詳細については、<PPM_HOME>/conf/logging.confを参照してください。

```
com.kintana.core.logging.SYSTEM_THRESHOLD = DEBUGを設定
com.kintana.core.logging.PRODUCT_FUNCTION_LOGGING_LEVEL =
com.kintana.sc.authentication, DEBUGを追加
```

高度な構成

`oidc_sso.conf`ファイルのRPメタデータのデフォルト設定またはパラメーターを上書きできます。

`discovery_file`または`discovery_uri`のOPメタデータのオーバーライド (上記を参照):

パラメーター名	説明
issuer	OpenIDプロバイダーの発行者識別子。

authorization_endpoint	承認エンドポイントは、リソース所有者がログインし、クライアントアプリケーションに承認を付与する承認サーバー上のエンドポイントです。
token_endpoint	トークンエンドポイントは、クライアントアプリケーションが認証コード、クライアントID、およびクライアントシークレットをIDトークンと交換する認証サーバー上のエンドポイントです。
jwks_uri	Jwks_uriは、JSON Web署名に使用されるJSON Webキー (JWK) のJSONArrayを含むOpenID Connect Identity Provider (IDP) のJWKセットのURIとして表されるメタデータエントリです。 空の場合、idトークンの署名は検証されません。
end_session_endpoint	セッション終了エンドポイントを使用して、シングルサインアウトをトリガーできます。 空の場合、サインアウトは無効になります。

デフォルト設定を上書きします。

パラメーター名	説明
flow	許可される値: 承認コードまたは暗黙的 デフォルト値: PPMは、最も適切なフローを自動的に選択します。
audience	OPによって発行されたIDトークンのオーディエンス。 デフォルト値: PPMアプリケーションの認証クライアントID。
user_id_claim	PPMのユーザーIDに使用されるIDトークンのクレーム。 デフォルト値: sub
leeway	IDトークンが引き続き有効であると見なされる余裕のあるウィンドウを指定します。 デフォルト値: 0
post_logout_redirect_uri	OPが正常にログアウトした後のリダイレクトURI デフォルト値: <PPM_BASE_URL>/itg/sso/loggedout.jsp
token_endpoint_auth_method	クライアントアプリケーション (PPM) が認証コード、クライアントID、およびクライアントシークレットを、OPトークンエンドポイントからのIDトークンと交換するときの認証方法。 許可される値: client_secret_basic or client_secret_post デフォルト値: client_secret_basic

制限事項

- AUTHORIZATION CODEフローまたはIMPLICITフローのみがサポートされています。
- token_endpoint_auth_methodは、client_secret_basicまたはclient_secret_postのいずれかになります。

 参照:

- [「PPM 9.50の新機能」](#)

PPM 9.50の新機能

このセクションでは、PPM 9.50で導入または拡張された機能の概要を説明します。

What-if分析

What-if分析は、さまざまなシナリオをプラグインしてさまざまな投資計画を調査および比較し、変化する条件に基づいて代替案をスケジュールするためのシミュレーションツールです。PPMは、ポートフォリオとプログラムにこのツールを導入します。これは、ポートフォリオおよびプログラムマネージャーが、組織のビジネス価値を最大化するために、次の会計期間に何を投資するかをより適切に決定するのに役立ちます。

詳細については、[What-if分析](#)を参照してください。

エンタープライズアジャイルアップデート

PPMは、新しい統合を追加し、アジャイルコネクターの既存の統合を強化します。

PPMリクエストをアジャイルエンティティに同期する

PPMリクエストタイプが、機能やユーザーストーリーなどのエンティティタイプ、およびアジャイルツールのアジャイルプロジェクトにマッピングされている場合:

- リクエストタイプのリクエストを作成してPPMの特定のワークフローステップに移動すると、アジャイルツールのマップされたプロジェクトにマップされたエンティティが自動的に作成されます。
- リクエストまたはアジャイルエンティティの変更は、PPMとアジャイルツールの間で同期されます。

現在、すぐに使用できるALM OctaneおよびJIRAコネクターは、このような統合をサポートしています。

詳細については、[PPM内からのALM Octaneエンティティの作成](#)および[PPM内からのJIRAエンティティの管理](#)を参照してください。

ALM OctaneおよびJIRAコネクターを改善する

データの正確性と柔軟性を確保するために、作業計画の統合とタイムシートの統合のために、ALM OctaneおよびJIRAコネクターにさらに多くのオプションが追加されています。

詳細については、[PPMタスクとJIRAプロジェクトの統合](#)および[JIRAからPPMタイムシートへの作業のインポート](#)を参照してください。

外部タスクからの実績工数と実績コストをロールアップするかどうかを制御する

プロジェクトタスクが別のプロジェクトにリンクされ、それがリンクされたタスクの外部タスクになる場合、外部タスクの実際の労力と実際のコストは、リンクされたタスクにロールアップされていました。これで、プロジェクト管理者は、実績工数と実績コストを外部タスクからリンクされたタスクにロールアップしないことを選択できます。

詳細については、[ハイブリッドプロジェクトポリシー](#)を参照してください。

タスク、サマリータスク、またはプロジェクトレベルでハイブリッドプロジェクト時間を追跡する

プロジェクトがハイブリッドプロジェクトとして設定されている場合、時間は、タスクレベルのみではなく、任意のレベル(タスクレベル、サマリータスクレベル、またはプロジェクトレベル)で追跡できるようになりました。

リンクされたタスクに対するロギング時間をサポートする

ハイブリッドプロジェクトが時間管理を使用してサマリータスクレベルで時間を追跡する場合、プロジェクト内のリンクされたタスクをタイムシートに追加できます。PPMは、リンクされたタスクに対するロギング時間をサポートします。

タイムシートの外部データをPPM作業項目に転送する

1つの外部データ明細の時間を1つのPPM作業項目へ転送します。外部データ明細がタイムシートから削除され、PPM作業項目がタイムシートに追加され、外部データ明細の作業が作業項目に追加されます。

詳細については、[外部データのPPM作業項目への転送](#)を参照してください。

タイムシートの外部データを非外部データにマージする

複数の外部データ明細の時間をタイムシートの1つの非外部データ明細にマージします。外部データ明細はタイムシートから削除され、それらの作業は非外部データ明細に追加されます。

詳細については、[非外部データを非外部データ明細にマージする](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

価値主導型ポートフォリオ管理は、ポートフォリオの価値をその内容に結び付けるためにさらに一歩進んでいます。

戦略テーマを管理する	PPM 9.50は、価値主導型ポートフォリオ管理に戦略テーマを導入しています。戦略テーマは、ポートフォリオのビジョンをエンタープライズビジネス戦略に結び付け、次にポートフォリオの内容に結び付けます。 詳細については、 戦略テーマの定義 を参照してください。
ビジネスゴールを共有KPIまたはプライベートKPIのいずれかに関連付ける	KPIは、以前はすべてのポートフォリオビジネスゴールで共有されていました。これで、ポートフォリオのビジネスゴールを追加するときに、ポートフォリオマネージャーはビジネスゴール専用のプライベートKPIを作成できます。ポートフォリオマネージャーは、ビジネスゴールを共有KPIまたはプライベートKPIに関連付けることができます。 詳細については、 ビジネスゴールの追加 を参照してください。
ポートフォリオのマイルストーンを追加する	ポートフォリオマネージャーは、ポートフォリオ タイムライン タブにポートフォリオのマイルストーンを追加できます。 詳細については、 ポートフォリオマイルストーンの追加 を参照してください。

プログラム管理の機能拡張

プログラムのセキュリティチェックを改善する

- プログラムのセキュリティチェックでは、プログラムの参加者が考慮されるようになりました。
- プログラムのセキュリティ設定は、プログラムの[アクセスの設定]ページで行われていました。これでページが削除され、プログラムのセキュリティ設定が [プログラム設定] ページにポリシーとして追加されます。

詳細については、[プログラムセキュリティポリシー](#)を参照してください。

会計年度あたりのプログラムコストを表示

フィルター**財務情報を表示する会計年**がプログラム**コスト**タブで利用できるようになりました。これにより、プログラムマネージャーは、プログラムコストとプログラムコンテンツのコストデータを会計年度ごとにフィルタリングできます。

プロジェクト管理の機能拡張

実績を持つ作業計画を削除する

システム管理者がパラメーターALLOW_DELETE_WORK_PLAN_WITH_ACTUALSをtrueに設定すると、プロジェクトマネージャーは実際のプロジェクト作業計画を、最初の実績を手動で削除せずに削除できます。

詳細については、[作業計画の削除](#)を参照してください。

タスクのロールごとにタスクコストを計算する

PPMは、タスクのコストを計算するときに、コスト要因「ロール」にリソースのロールを使用するために使用されていました。システム管理者がパラメーターUSE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSをtrueに設定した場合、タスクロールが定義されていない限り、PPMはコスト要因「ロール」にタスクロールを使用します。

詳細については、[コスト要因の適用](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

期間制限を20から40に増やす

アサインの負荷の分析ポートレットおよびリソースプールの分析ポートレットは、過去および将来の20期間のデータをフィルタリングできるようにするために使用されていました。これで、期間制限が40に引き上げられました。

タスクリソースを名前のアルファベット順にソートする

タスクにアサインされたリソースは、タスクの詳細ページの[リソース]タブでリソース名のアルファベット順に並べ替えられるようになりました。プロジェクトマネージャーは、タスクに関する特定のリソースを簡単に見つけることができます。

デマンド管理の機能拡張

リクエストをPDFにエクスポート

リクエストをPDFにエクスポートするには、リクエストの詳細ページで、**詳細 > PDF**をクリックします。

この機能をオフにするには、パラメーター `ENABLE_REQUEST_EXPORT_TO_PDF` を `false` に設定します。

クイック編集モードでテキストフィールドを拡大

検証「テキスト領域- 1800」を使用するテキストフィールドは、クイック編集モードで拡大され、モードでの更新要求をよりユーザーフレンドリーにします。

ユーザー認証の機能拡張

一般的なSSO環境では、PPMサーバーはHTTPヘッダーからのみユーザー名情報を受信するために使用されました。sso.confファイルでパラメーターLOCATIONを設定する方法に応じて、HTTPリクエスト属性とREMOTE_USER CGI環境変数からのユーザー名情報の取得もサポートするようになりました。

詳細については、[PPMを使用した汎用シングルサインオン実装](#)を参照してください。

PPMレポートの機能拡張

Excelレポートで、ラージデータモードが最初のスプレッドシートだけでなく、任意のスプレッドシートで機能するようになりました。

詳細については、[ラージデータモードの使用方法](#)を参照してください。

REST APIの改善

アクティビティの取得やプロジェクトタイプの取得など、より多くの操作が公開されるため、対話型REST APIヘルプがより強力になります。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

ヘルプセンターの機能拡張

- [ヘルプ]メニューは、外部インターネットにアクセスできる場合はPPMオンラインヘルプを開き、アクセスできない場合はオフラインヘルプを開きます。
- コンテキスト依存ヘルプは、多くのPPM Webページに実装されています。[ヘルプ]メニューをクリックすると、ヘルプセンターのホームページではなく、現在のWebページに関連するヘルプトピックが開きます。
- ヘルプセンターには、高度なサイト検索機能が含まれるようになりました。
 - 直感的でわかりやすいGoogleライクな検索
 - すべてのADMヘルプセンターを検索
 - 選択した製品で検索結果をフィルタリング
 - PDFやAPIなど、別々の成果物の結果を1か所で取得
- プロジェクト管理ユーザーガイドとプログラム管理ユーザーガイドが再構成されました。

プラットフォーム認定

PPM 9.50は、以下のサポートを追加します。

PPMサーバーオペレーティングシステム

- Red Hat Enterprise Linux 7.5 (32ビットと64ビットの両方)
- Oracle Enterprise Linux (OEL) 7.5 (RHEL Clone)
- CentOS 7.5サーバー (64ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 12.3 (32ビットと64ビットの両方)
- IBM AIXバージョン7.2
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V
- Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V

ブラウザー

- Mozilla Firefox 52.7.3 ESR
- Google Chrome 66

既知の問題

このセクションでは、PPMを使用する場合の既知の問題について説明します。

PPMのインストール

- **バージョン2023~23.3にのみ適用されます。** PPMを一定期間実行すると、プログラムを開こうとすると「内部エラー」の問題が発生し、プログラムの内容が正しく表示されなくなることがあります。これはすべてのプログラムに影響します。

回避策: この問題を解決するには、PPMをインストールまたは2023または23.3にアップグレードした後、サポートチケットを送信し、ホットフィックスを要求します。

- Oracle JDK 8の既知の問題により、PPMはJava SE Development Kit (JDK) 8u361 (jdk1.8.0_361) とともにインストールできません。JDK 8u351 (jdk1.8.0_351) またはそれ以前のアップデートを使用することをお勧めします。
- トルコ語ロケールを使用するオペレーティングシステムにPPMをインストールできません。
- **バージョン23.3にのみ適用されます。** インスタンスにポーランド語をデプロイする場合、ポーランドの地域カレンダーは選択できません。

回避策: ポーランド語の地域カレンダーを作成する必要があります。詳細については、[地域カレンダーのセットアップ](#)を参照してください。

プラットフォーム

- アサインの負荷の分析ポートレットデータをExcelにエクスポートし、[次の合計アサイン値: 実績工数] を表示、[詳細データを含める] の2つのオプションを選択した場合、パッケージ、プログラム、その他の詳細はExcelにエクスポートされませんが、実績工数は実際の合計アサインに含まれます。PPMは将来のバージョンでこの問題を修正する予定です。
- 製品アイコンをクリックしてダッシュボードのランディングページに移動し、ページをPDFにエクスポートする前にランディングページがすでに変更されている場合、PDFにはエクスポートするページではなく新しいランディングページのコンテンツが表示されます。

プロジェクト管理

バージョン23.4のみに適用されます。 MSP-PPM統合にMSPプラグインを使用している場合、Microsoftプロジェクトで作業計画を開こうとするとエラーが発生します。

回避策: [作業計画ファイルをPPMからアップロード/ダウンロード] 統合モードに切り替えます。

ポートフォリオ管理

テーブルコンポーネントを含むリクエストの場合、リクエストがポートフォリオに含まれていると、「戦略」セクションは空白になります。この問題が発生した場合は、ホットフィックスについてサポートにお問い合わせください。

リソース管理

[プロジェクトサマリ] ページからスタッフィングプロファイルのベースラインを作成する場合、ページが長く、ページを一番下までスクロールして [ベースライン] ボタンをクリックすると、画面の外に [スタッフィングプロファイルのベースラインの作成] ダイアログボックスが表示されることがあります。このダイアログボックスを画面上の目的の場所に移動すると、スタッフィングプロファイルのベースラインを作成できます。この問題はChromeブラウザーとEdgeブラウザーで発生します。

PPMモジュール

PPMは、以下のコアモジュールで構成されています。これらのモジュールは独立して使用されません。

デマンド管理	<p>デマンド管理を使用してさまざまなタイプの要求を送信し、要求が解決または承認されるまでプロセス (ワークフロー) を通過させます。</p> <p>詳細については、はじめに: デマンド管理を参照してください。</p>
ポートフォリオ管理	<p>ポートフォリオ管理は、戦略を定義し、提案、現在のプロジェクト、および確立された資産をビジネス戦略と整合させ、それによって新しいイニシアチブの価値を最大化するのに役立つツールを提供します。</p> <p>詳細については、はじめに: ポートフォリオ管理を参照してください。</p>
財務管理	<p>財務サマリーを使用して、コスト計画を管理し、実績コストとベネフィットを把握し、承認された予算を追跡します。財務データテーブルを使用して、あらゆるタイプのリクエストの予測および実績のコストとベネフィットを追跡します。</p> <p>詳細については、はじめに: 財務管理を参照してください。</p>
リソース管理	<p>リソース管理は、ITイニシアチブに関連する人員を管理するための一連のツールを提供します。リソースのロールとスキルを設定し、将来のリソース容量を計画および追跡し、現在のプロジェクトとリクエストの実行にリソースをアサインできます。</p> <p>詳細については、はじめに: リソース管理を参照してください。</p>
プロジェクト管理	<p>プロジェクト管理を使用すると、プロジェクトを開始、実行、追跡して、プロジェクトがスケジュールと予算内で完了していることを確認できます。</p> <p>詳細については、はじめに: プロジェクト管理を参照してください。</p>
プログラム管理	<p>1つのプロジェクトでビジネスゴールを達成できない場合は、プログラム管理を使用して、関連するプロジェクト、提案、および資産をグループ化し、それらをまとめて監視します。</p> <p>詳細については、はじめに: プログラム管理を参照してください。</p>

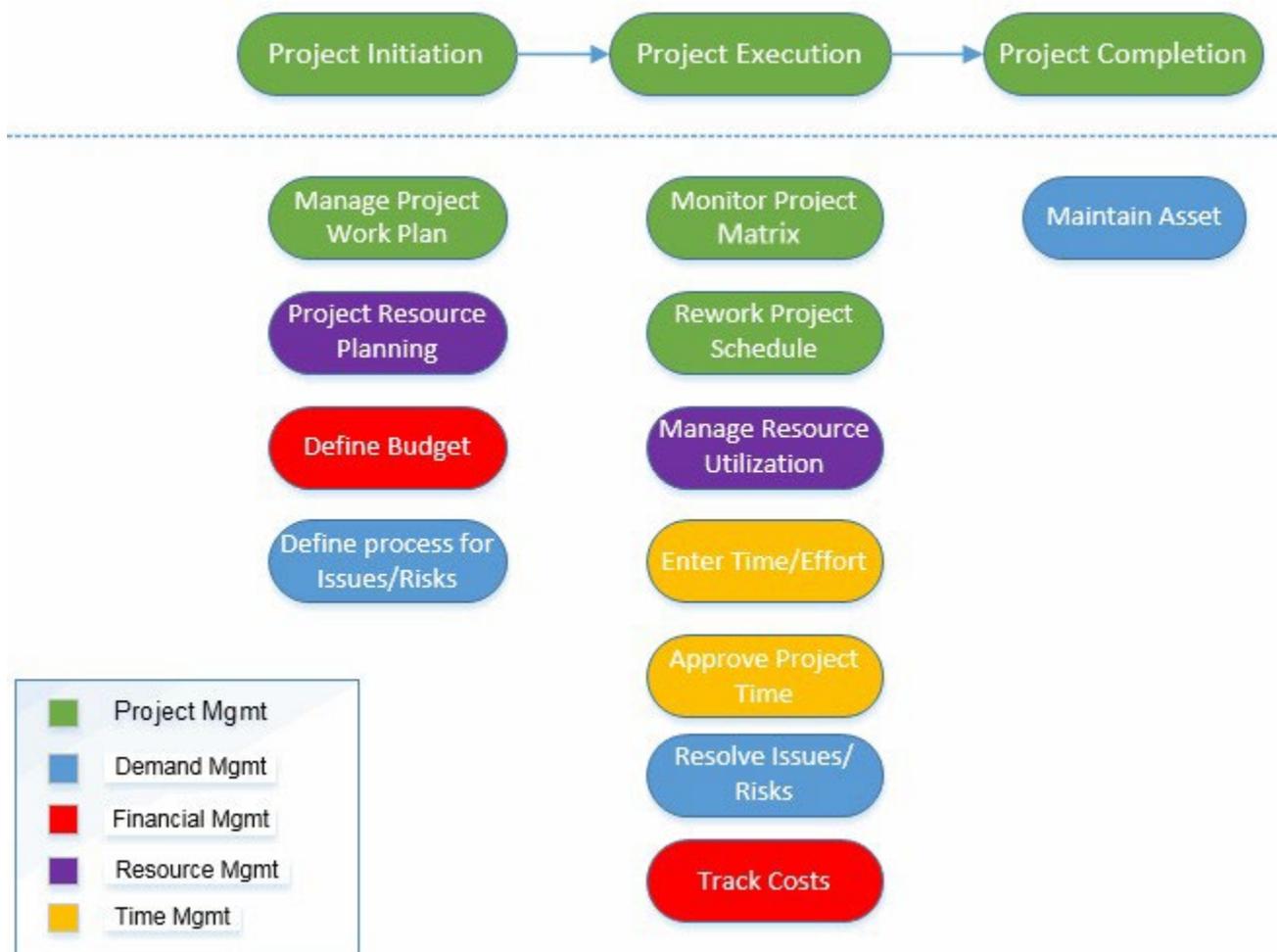
時間管理

作業項目 (リクエスト、プロジェクト、タスク、パッケージ、またはその他の作業) で作業しているときは、時間管理タイムシートを使用して、特定の作業項目で作業している時間を報告します。

詳細については、[はじめに: 時間管理](#)を参照してください。

ユースケースの例

プロジェクト管理モジュールを使用してプロジェクトを管理する場合、デマンド管理を使用してプロジェクトで発生する問題やリスクを追跡したり、財務管理を使用して予算を定義したり、コストベネフィットを追跡したりすることもできます。以下は、これらのモジュールがどのように連携してプロジェクトを完了するかの例です。



PPMサポートマトリックス

このセクションでは、PPMを実行するために必要なシステム要件と、サポートされているオペレーティングシステム、ブラウザ、テクノロジー、およびその他のサードパーティ製品を一覧表示します。

リリースの詳細と日付については、[製品サポートライフサイクルページ](#)を参照してください。製品サポートライフサイクルポリシーは、各製品バージョンに提供されるサポートのレベルを定義します。

サポートマトリックスと統合カタログの最新バージョンにオンラインでアクセスします。

ドキュメント	リンク
サポートマトリックス	PPM 23.4サポートマトリックス
統合カタログ	統合ソリューションの互換性マトリックス
ハードウェア要件	サイズに関する推奨事項

注記: PPMのお客様は、ますます多様化する環境(オンプレミス、クラウドなど)でPPMを実行します。システム要件と互換性マトリックスは、最新の情報で継続的に更新されます。ただし、企業プラットフォームとクラウドサービスは急速に変化しているため、利用可能なすべてのプラットフォームを正式に認定することはできません。このため、PPMを実行するプラットフォームの特定のバージョンがこの互換性マトリックスにリストされていない場合は、[PPMディスカッションフォーラム](#)でサポートできるかどうかを問い合わせることができます。

 参照:

- [PPM 23.3サポートマトリックス](#)
- [PPM 2023サポートマトリックス](#)

PPM統合

PPMは、他のOpenText製品およびサードパーティ製品との統合ソリューションを提供します。

製品	統合
アジャイルツール <ul style="list-style-type: none"> • ALM Octane • Atlassian JIRA • CA Rally • VersionOne • Notion • Smartsheet • ServiceNow • Azure DevOps 	<ul style="list-style-type: none"> • ALM Octaneとの統合 • Atlassian JIRAとの統合 • CA Rallyとの統合 • VersionOneとの統合 • NotionからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版) • SmartsheetからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版) • PPMとServiceNowの統合 • Microsoft Azure DevOpsとの統合
Quality Center / Application Lifecycle Management	<ul style="list-style-type: none"> • PPMリクエストのQC/ALMの不具合や要件との統合 • PPMプロジェクトとALMリリースとの統合 • PPMタスクとALMリリースとの統合
Microsoft Project	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト管理とMicrosoft Projectとの統合
Service Manager	<ul style="list-style-type: none"> • PPMリクエストとService Managerの変更点との統合 • PPMタスクとService Manager RFCとの統合
Universal CMDB	<ul style="list-style-type: none"> • PPMとUniversal CMDBとの統合 • PPMとUniversal CMDB for Service Portfolioとの統合 • APMとUniversal CMDBとの統合
Release Control	<ul style="list-style-type: none"> • PPMとRelease Controlとの統合

PPM統合その他のヘルプ

さらにヘルプが必要ですか? OpenText製品を最大限に活用するための方法をいくつか紹介します。

 サポート	製品のサポートが必要ですか? サポート にアクセスすると、サポートインシデントのオープンやバグの送信を行えます。また、多くの役立つサポートリソースを参照することもできます。
 コミュニティ	製品関連の質問に対するヒントと回答をお探しですか? 製品のディスカッションフォーラムに参加して、 コミュニティ の膨大なナレッジプールを活用してください。多くの異なる重点分野をカバーするブログもあります。
 トレーニングと 教育	トレーニングコースに興味がありますか? 教育サービス で利用可能なトレーニングおよび教育オプションを表示および検索します。
 Doc フィードバック	ヘルプトピックに関する支援が必要ですか? ヘルプセンターのエクスペリエンスを改善する方法を教えてください。特定のトピックに関するフィードバックを送信するか、ヘルプセンターのフッターにある ヘルプセンターに関するフィードバックの送信 をクリックして質問してください。

